J

EX-word
[éks-wә́ːd]

XD-H6500
付表・図

広　辞　苑
家庭の医学

・本製品を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を電子辞書本体の取扱説明書に記載しています。
本製品をご使用になる前に、必ずお読みください。
・本書は、お読みになった後も大切に保管してください。

RJA512812-026V01

CASIO®

付表・図(広辞苑)

- 見出し語の解説画面の中に"→○○○(表)"と表示されたときは、この付表を参照してください。
  (例)"→天皇(表)"と表示されたときは、「天皇」を参照してください。
- 図については、付表の後にまとめました。

【目次】

●付表

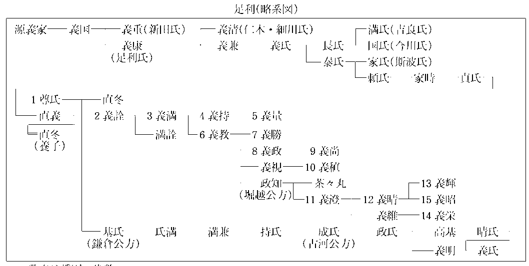
【アイビー-リーグ】

アイビー-リーグ

大学名	所在地	創立年
ハーヴァード	マサチューセッツ州ケンブリッジ	1636
イェール	コネチカット州ニュー-ヘブン	1701
ペンシルヴァニア	ペンシルヴァニア州フィラデルフィア	1740
プリンストン	ニュー-ジャージー州プリンストン	1746
コロンビア	ニュー-ヨーク州ニュー-ヨーク	1754
ブラウン	ロード-アイランド州プロヴィデンス	1764
ダートマス	ニュー-ハンプシャー州ハノーヴァー	1769
コーネル	ニュー-ヨーク州イサカ	1865

【足利】

足利(略系図)



数字は将軍の代数

【位階】

位階(大宝令・養老令)

親王	諸王・諸臣	勲位	親王	諸臣	勲位
一品	正一位			正六位上	
	従一位			正六位下	勲七等
二品	正二位			従六位上	
	従二位			従六位下	勲八等
三品	正三位	勲一等		正七位上	
	従三位	勲二等		正七位下	勲九等
四品	正四位上			従七位上	
	正四位下	勲三等		従七位下	勲十等
	従四位上			正八位上	
	従四位下	勲四等		正八位下	勲十一等
	正五位上			従八位上	
	正五位下	勲五等		従八位下	勲十二等
	従五位上			大初位上	
	従五位下	勲六等		大初位下	
				少初位上	
				少初位下	

ほかに正五位上〜少初位下の各階に外位がある．例，外正五位上

【遺伝暗号】

遺伝暗号

塩基の第一文字	U (塩基の第二文字) コドン	アミノ酸	C コドン	アミノ酸	A コドン	アミノ酸	G コドン	アミノ酸	塩基の第三文字
U	UUU	フェニルアラニン	UCU	セリン	UAU	チロシン	UGU	システイン	U
	UUC		UCC		UAC		UGC		C
	UUA	ロイシン	UCA		UAA	÷	UGA	÷	A
	UUG		UCG		UAG		UGG	トリプトファン	G
C	CUU	ロイシン	CCU	プロリン	CAU	ヒスチジン	CGU	アルギニン	U
	CUC		CCC		CAC		CGC		C
	CUA		CCA		CAA	グルタミン	CGA		A
	CUG		CCG		CAG		CGG		G
A	AUU	イソロイシン	ACU	トレオニン	AAU	アスパラギン	AGU	セリン	U
	AUC		ACC		AAC		AGC		C
	AUA		ACA		AAA	リジン	AGA	アルギニン	A
	AUG	メチオニン, ＊	ACG		AAG		AGG		G
G	GUU	バリン	GCU	アラニン	GAU	アスパラギン酸	GGU	グリシン	U
	GUC		GCC		GAC		GGC		C
	GUA		GCA		GAA	グルタミン酸	GGA		A
	GUG		GCG		GAG		GGG		G

U：ウラシル, C：シトシン, A：アデニン, G：グアニン,
＊：読取り始め(開始コドン), ÷：読取り終り(終止コドン)

【インド】

インドの主な王朝

北西部・北部		中央部		南部	
(マガダ国)	紀元前6世紀〜	(カリンガ国)	?〜前3世紀		
マウリヤ朝	前324頃〜前187頃				
シュンガ朝	前184頃〜前72頃	サータヴァーハナ朝	前1世紀?〜後3世紀	チョーラ朝(1)	前3世紀〜後3世紀
クシャーナ朝	後1世紀〜3世紀				
グプタ朝	320頃〜550頃			パッラヴァ朝	4〜9世紀
ヴァルダナ朝	606頃〜647頃				
ラージプート系諸王朝	8世紀〜13世紀			チョーラ朝(2)	9〜13世紀
ゴール朝	12世紀頃〜1206				
デリー王朝					
1 奴隷王朝	1206〜1290				
2 ハルジー朝	1290〜1320				
3 トゥグルク朝	1320〜1413			ヴィジャヤナガル朝	1336〜1649
4 サイイド朝	1414〜1451				
5 ロディー朝	1451〜1526				
ムガル帝国	1526〜1858	マラーター王国(同盟)	1674〜1819		

【雲級】

雲級

類	略号	雲のよくあらわれる高さ	
巻雲 巻積雲 巻層雲	Ci Cc Cs	上層	極地方 3〜8 km 温帯地方 5〜13 km 熱帯地方 6〜18 km
高積雲	Ac	中層	極地方 2〜4 km 温帯地方 2〜7 km 熱帯地方 2〜8 km
高層雲	As	普通中層に見られるが, 上層までひろがっていることが多い.	
乱層雲	Ns	普通中層に見られるが, 上層および下層にもひろがっていることが多い.	
層積雲 層雲	Sc St	下層	極地方 地面付近〜2 km 温帯地方 地面付近〜2 km 熱帯地方 地面付近〜2 km
積雲 積乱雲	Cu Cb	雲底は普通下層にあるが, 雲頂は中・上層まで達していることが多い.	

【干支】

干支 ①

1	甲子	かっし・こうし	きのえね	31	甲午	こうご	きのえうま
2	乙丑	いっちゅう・おっちゅう	きのとうし	32	乙未	いつび・おつび	きのとひつじ
3	丙寅	へいいん	ひのえとら	33	丙申	へいしん	ひのえさる
4	丁卯	ていぼう	ひのとう	34	丁酉	ていゆう	ひのととり
5	戊辰	ぼしん	つちのえたつ	35	戊戌	ぼじゅつ	つちのえいぬ
6	己巳	きし	つちのとみ	36	己亥	きがい	つちのとい
7	庚午	こうご	かのえうま	37	庚子	こうし	かのえね
8	辛未	しんび	かのとひつじ	38	辛丑	しんちゅう	かのとうし
9	壬申	じんしん	みずのえさる	39	壬寅	じんいん	みずのえとら
10	癸酉	きゆう	みずのととり	40	癸卯	きぼう	みずのとう
11	甲戌	こうじゅつ	きのえいぬ	41	甲辰	こうしん	きのえたつ
12	乙亥	いつがい・おつがい	きのとい	42	乙巳	いっし・おっし	きのとみ
13	丙子	へいし	ひのえね	43	丙午	へいご	ひのえうま
14	丁丑	ていちゅう	ひのとうし	44	丁未	ていび	ひのとひつじ
15	戊寅	ぼいん	つちのえとら	45	戊申	ぼしん	つちのえさる
16	己卯	きぼう	つちのとう	46	己酉	きゆう	つちのととり
17	庚辰	こうしん	かのえたつ	47	庚戌	こうじゅつ	かのえいぬ
18	辛巳	しんし	かのとみ	48	辛亥	しんがい	かのとい
19	壬午	じんご	みずのえうま	49	壬子	じんし	みずのえね
20	癸未	きび	みずのとひつじ	50	癸丑	きちゅう	みずのとうし
21	甲申	こうしん	きのえさる	51	甲寅	こういん	きのえとら
22	乙酉	いつゆう・おつゆう	きのととり	52	乙卯	いつぼう・おつぼう	きのとう
23	丙戌	へいじゅつ	ひのえいぬ	53	丙辰	へいしん	ひのえたつ
24	丁亥	ていがい	ひのとい	54	丁巳	ていし	ひのとみ
25	戊子	ぼし	つちのえね	55	戊午	ぼご	つちのえうま
26	己丑	きちゅう	つちのとうし	56	己未	きび	つちのとひつじ
27	庚寅	こういん	かのえとら	57	庚申	こうしん	かのえさる
28	辛卯	しんぼう	かのとう	58	辛酉	しんゆう	かのととり
29	壬辰	じんしん	みずのえたつ	59	壬戌	じんじゅつ	みずのえいぬ
30	癸巳	きし	みずのとみ	60	癸亥	きがい	みずのとい

【江戸幕府】

江戸幕府(将軍一覧)

代数	氏名	父	母	在職期間	没年
1	徳川家康	松平広忠	水野氏お大	1603〜1605	1616
2	徳川秀忠	徳川家康	西郷氏お愛	1605〜1623	1632
3	徳川家光	徳川秀忠	浅井氏お江	1623〜1651	1651
4	徳川家綱	徳川家光	増田氏お楽	1651〜1680	1680
5	徳川綱吉	徳川家光	本庄氏お玉	1680〜1709	1709
6	徳川家宣	(甲府)徳川綱重	田中氏お保良	1709〜1712	1712
7	徳川家継	徳川家宣	勝田氏おきよ	1713〜1716	1716
8	徳川吉宗	(紀伊)徳川光貞	巨勢氏おゆり	1716〜1745	1751
9	徳川家重	徳川吉宗	大久保氏おすま	1745〜1760	1761
10	徳川家治	徳川家重	梅渓氏お幸	1760〜1786	1786
11	徳川家斉	一橋治済	岩本氏おとみ	1787〜1837	1841
12	徳川家慶	徳川家斉	押田氏お楽	1837〜1853	1853
13	徳川家定	徳川家慶	跡部氏おみつ	1853〜1858	1858
14	徳川家茂	(紀伊)徳川斉順	松平氏みさ	1858〜1866	1866
15	徳川慶喜	(水戸)徳川斉昭	有栖川宮吉子	1866〜1867	1913

【オリンポス】

オリンポスの十二神

神名	ローマ名
ゼウス	ジュピター
ヘラ	ジュノー
ポセイドン	ネプチューン
アポロン	アポロ
アルテミス	ダイアナ
ヘファイストス	ウルカヌス
アフロディテ	ヴィーナス
アレス	マース
アテナ	ミネルヴァ
ヘルメス	マーキュリー
デメテル	ケレス
ヘスティアまたはディオニュソス	バッカス

【オリンピック競技】

オリンピック夏季大会

回	開催年	開催地	回	開催年	開催地
1	1896	アテネ	18	1964	東京
2	1900	パリ	19	1968	メキシコ-シティー
3	1904	セントルイス	20	1972	ミュンヘン
4	1908	ロンドン	21	1976	モントリオール
5	1912	ストックホルム	22	1980	モスクワ
6	1916	ベルリン (中止)	23	1984	ロサンゼルス
7	1920	アントワープ	24	1988	ソウル
8	1924	パリ	25	1992	バルセロナ
9	1928	アムステルダム	26	1996	アトランタ
10	1932	ロサンゼルス	27	2000	シドニー
11	1936	ベルリン			
12	1940	東京 (中止)			
13	1944	ロンドン (中止)			
14	1948	ロンドン			
15	1952	ヘルシンキ			
16	1956	メルボルン			
		ストックホルム			
17	1960	ローマ			

オリンピック冬季大会

回	開催年	開催地
1	1924	シャモニー-モンブラン
2	1928	サン-モリッツ
3	1932	レーク-プラシッド
4	1936	ガルミッシュ-パルテンキルヘン
5	1948	サン-モリッツ
6	1952	オスロ
7	1956	コルチナ-ダンペッツォ
8	1960	スコー-ヴァレー
9	1964	インスブルック
10	1968	グルノーブル
11	1972	札幌
12	1976	インスブルック
13	1980	レーク-プラシッド
14	1984	サラエヴォ
15	1988	カルガリー
16	1992	アルベールヴィル
17	1994	リレハンメル
18	1998	長野

【音名】

音名

国名	本位音							変位音(ハの場合)	
日本	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	イ	ロ	嬰ハ	変ハ
英米	C	D	E	F	G	A	B	C–sharp	C–flat
ドイツ	C	D	E	F	G	A	H	Cis	Ces
イタリア	do	re	mi	fa	sol	la	si	do diesis	do bemolle
フランス	ut	ré	mi	fa	sol	la	si	ut dièse	ut bémol

【楽器】

楽器の種類

打楽器	金属製	シンバル・トライアングル・ボナン・銅鑼(どら)・鐘・鉄琴・鈴・びやぼん
	木・竹製	カスタネット・拍子木・木琴(シロホン)・マリンバ・木魚・びんざさら・ムックリ・マラカス
	膜打楽器	太鼓・ドラム・タンバリン・ティンパニ・コンガ・ボンゴ・タブラ・ムリダンガム・大鼓・小鼓
弦楽器	擦弦楽器	バイオリン・ビオラ・チェロ・コントラバス・ラバーブ・胡弓・二胡・馬頭琴・サーランギ
	撥弦楽器	三味線・月琴・バラライカ・琵琶・リュート・ウード・シタール・ギター・マンドリン・ウクレレ・ハープ・箜篌(くご)・サウン・リラ・キタラ・チター・瑟(しつ)・筝・カーヌーン
	打弦楽器	ツィンバロム・洋琴(ヤンチン)
管楽器	横笛	フルート・ピッコロ・竜笛(りゅうてき)・高麗笛(こまぶえ)・神楽笛・能管・篠笛(しのぶえ)
	縦笛	オーボエ・クラリネット・サキソフォン・リコーダー・ケーナ・スールナイ・チャルメラ・尺八・簫(しょう)・篳篥(ひちりき)
	らっぱ	トランペット・コルネット・ホルン・トロンボーン・チューバ
	その他	オカリナ・塤(けん)
鍵盤楽器	アコースティック(音響的)	オルガン・ハープシコード・ピアノ・アコーディオン・チェレスタ
	エレクトロニック(電子的)	電子オルガン・シンセサイザー・オンドマルトノ
その他		ハーモニカ・オルゴール・大正琴・ハーディ-ガーディ

【階級】

生物の分類階級

階級	英語**	階級	英語**
界	kingdom	上科	
亜界		科	family
門	phylum(動), division(植)	亜科	
		連(族)	tribe
亜門		亜連(族)	
上綱		属	genus
綱	class	亜属	
亜綱		節	section
下綱		系	series
コホート	cohort	種	species
上目*		亜種	
目	order	変種	variety
群*	group	品種(型)	form
亜目			

＊ 動物のみ. ＊＊ 亜は sub, 上は super, 下は infra をそれぞれの語頭に付す.

【カンバス】

カンバス1の号数基準(単位：cm)

号	F	P	M
0	17.9×13.9 (18×14)	17.9×11.7 (18×12)	17.9×10.0
1	22.1×16.6 (22×16)	22.1×13.9 (22×14)	22.1×11.7 (22×12)
2	24.0×19.0 (24×19)	24.0×16.1 (24×16)	24.0×13.9 (24×14)
5	35.0×27.0 (35×27)	35.0×24.3 (35×24)	35.0×22.7 (35×22)
10	53.0×45.5 (55×46)	53.0×40.9 (55×38)	53.0×33.3 (55×33)
50	116.7×90.9 (116×89)	116.7×80.3 (116×81)	116.7×72.7 (116×73)
100	162.1×130.3 (162×130)	162.1×112.1 (162×114)	162.1×97.0 (162×97)

F＝Figure(人物型), P＝Paysage(風景型), M－Marine(海景型)
上段＝日本, 下段＝欧米

【鎌倉幕府】

鎌倉幕府(将軍一覧)

代数	氏名	父	母	在職期間	没年
1	源 頼朝	源 義朝	熱田大宮司季範娘	1192〜1199	1199
2	源 頼家	源 頼朝	北条政子	1202〜1203	1204
3	源 実朝	源 頼朝	北条政子	1203〜1219	1219
4	藤原頼経	九条道家	西園寺公経娘綸子	1226〜1244	1256
5	藤原頼嗣	藤原頼経	藤原親能娘近子	1244〜1252	1256
6	宗尊親王	後嵯峨天皇	平 棟基娘棟子	1252〜1266	1274
7	惟康親王	宗尊親王	近衛兼経娘宰子	1266〜1289	1326
8	久明親王	後深草天皇	三条公親娘房子	1289〜1308	1328
9	守邦親王	久明親王	惟康親王娘	1308〜1333	1333

【紙】

紙(JIS仕上げ寸法)

番号	A列(mm)	B列(mm)
0	841×1189	1030×1456
1	594× 841	728×1030
2	420× 594	515× 728
3	297× 420	364× 515
4	210× 297	257× 364
5	148× 210	182× 257
6	105× 148	128× 182
7	74× 105	91× 128
8	52× 74	64× 91
9	37× 52	45× 64
10	26× 37	32× 45

【九星】

九星

名称	五行	方位	八卦
一白(いっぱく)	水星	北	坎(かん)
二黒(じこく)	土星	西南	坤(こん)
三碧(さんぺき)	木星	東	震(しん)
四緑(しろく)	木星	東南	巽(そん)
五黄(ごおう)	土星	中央	
六白(ろっぱく)	金星	西北	乾(けん)
七赤(しちせき)	金星	西	兌(だ)
八白(はっぱく)	土星	東北	艮(ごん)
九紫(きゅうし)	火星	南	離(り)

【九卿1】

九卿 ①

周代	職務	六官
少師(しょうし)	太師の副	
少傅(しょうふ)	太傅の副	
少保(しょうほ)	太保の副	
冢宰(ちょうさい)	宰相	天官
司徒(しと)	戸口・財政・教育	地官
宗伯(そうはく)	礼楽・祭祀	春官
司馬(しば)	軍政	夏官
司寇(しこう)	刑罰・警察	秋官
司空(しくう)	土地・民事	冬官

【九卿2】

九卿 ②

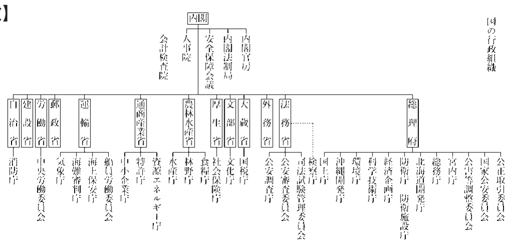
漢代	別称	唐代	職務
太常(たいじょう)	奉常	太常	宗廟の祭祀・礼楽
光禄勲(こうろくくん)	郎中令	光禄	宮中の警護
衛尉(えいい)		衛尉	宮門の警護
太僕(たいぼく)		太僕	車馬・牧畜
廷尉(ていい)	大理	大理	訴訟・刑罰
大鴻臚(だいこうろ)	典客	鴻臚	外客の応接
宗正(そうせい)		宗正	皇族の管理
少府(しょうふ)		太府	帝室の財政
大司農(だいしのう)	治粟内史	司農	国家の財政

【強弱記号】

強弱記号の例

記号	標語		意味
ppp	ピアニッシッシモ	pianississimo	*pp* より弱く
pp	ピアニッシモ	pianissimo	*p* より弱く
p	ピアノ	piano	弱く
mp	メゾ-ピアノ	mezzo piano	やや弱く
mf	メゾ-フォルテ	mezzo forte	やや強く
f	フォルテ	forte	強く
ff	フォルティッシモ	fortissimo	*f* より強く
fff	フォルティッシッシモ	fortississimo	*ff* より強く
fp	フォルテピアノ	fortepiano	強く, ただちに弱く
sf, *sfz*	スフォルツァンド	sforzando	その音を特に強く
>, ∧	アクセント	accent	その音を強く
< cresc.	クレッシェンド	crescendo	次第に強く
> dim.	ディミヌエンド	diminuendo	次第に弱く
> decresc.	デクレッシェンド	decrescendo	次第に弱く

【行政】



【ギリシア文字】

ギリシア文字

大文字	小文字	名称	大文字	小文字	名称
Α	α	アルファ	Ν	ν	ニュー
Β	β	ベータ	Ξ	ξ	クシー(グザイ)
Γ	γ	ガンマ	Ο	ο	オミクロン
Δ	δ	デルタ	Π	π	ピー(パイ)
Ε	ε	エプシロン(イプシロン)	Ρ	ρ	ロー
Ζ	ζ	ゼータ	Σ	σ, ς	シグマ
Η	η	エータ(イータ)	Τ	τ	タウ
Θ	θ	テータ(シータ)	Υ	υ	ユプシロン
Ι	ι	イオータ(イオタ)	Φ	φ	フィー(ファイ)
Κ	κ	カッパ	Χ	χ	キー(カイ)
Λ	λ	ラムダ	Ψ	ψ	プシー(プサイ)
Μ	μ	ミュー	Ω	ω	オメガ

括弧内は自然科学での慣用読み

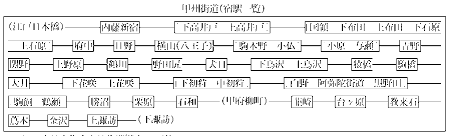
【結婚記念日】

結婚記念日(記念式)

1年目	紙婚式	15年目	水晶婚式
2年目	綿婚式	20年目	磁器婚式
3年目	革婚式	25年目	銀婚式
4年目	花婚式	30年目	真珠婚式
5年目	木婚式	35年目	珊瑚婚式
6年目	鉄婚式	40年目	ルビー婚式
7年目	銅婚式	45年目	サファイア婚式
8年目	青銅婚式	50年目	金婚式
9年目	陶器婚式	55年目	エメラルド婚式
10年目	錫婚式	75年(または60年)目	ダイヤモンド婚式

【甲州街道】

甲州街道(宿駅一覧)



□内は交代または片道継立ての宿

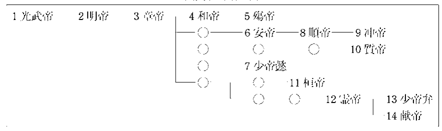
【酵素】

酵素の分類

大分類・作用	主な酵素	大分類・作用	主な酵素
1 酸化還元酵素(オキシドレダクターゼ) 酸化,還元	脱水素酵素(デヒドロゲナーゼ),酸化酵素(オキシダーゼ),酸素添加酵素(オキシゲナーゼ)	4 脱離酵素(リアーゼ) 基質から特定の官能基を取除く	脱カルボキシル酵素(デカルボキシラーゼ),カルボキシル化酵素(カルボキシラーゼ),アルドラーゼ
2 転移酵素(トランスフェラーゼ) 基質の特定の官能基を他の基質に移す	アミノ基転移酵素(トランスアミナーゼ),アセチル基転移酵素(トランスアセチラーゼ),キナーゼ	5 異性化酵素(イソメラーゼ) 特定の分子を異性体に変換する	ラセミ化酵素(ラセマーゼ),エピ化酵素(エピメラーゼ),ムターゼ
3 加水分解酵素(ヒドロラーゼ) 加水分解	蛋白質分解酵素(プロテアーゼ),リパーゼ,ホスファターゼ,アミダーゼ	6 合成酵素(リガーゼ・シンテターゼ) 二つの基質を結合させる	アセチルCoA合成酵素,ピルビン酸カルボキシル化酵素,アミノアシルtRNA合成酵素

【後漢】

後漢(歴代世系)



【皇朝十二銭】

皇朝十二銭

名称	発行年
1 和同開珎(わどうかいちん)	708
2 万年通宝(まんねんつうほう)	760
3 神功開宝(じんこうかいほう)	765
4 隆平永宝(りゅうへいえいほう)	796
5 富寿神宝(ふうじゅしんぽう)	818
6 承和昌宝(じょうわしょうほう)	835
7 長年大宝(ちょうねんたいほう)	848
8 饒益神宝(じょうえきしんぽう)	859
9 貞観永宝(じょうがんえいほう)	870
10 寛平大宝(かんぴょうたいほう)	890
11 延喜通宝(えんぎつうほう)	907
12 乾元大宝(けんげんたいほう)	958
開基勝宝(かいきしょうほう)	760(金銭)
大平元宝(たいへいげんぽう)	760(銀銭)

【五行】

五行配当

五行	時季	方位	色	十干	十二支	星
木	春	東	青	甲・乙	寅・卯	歳星(木星)
火	夏	南	赤(朱)	丙・丁	巳・午	熒惑(火星)
土	土用	中央	黄	戊・己	辰・未・戌・丑	鎮星(土星)
金	秋	西	白(素)	庚・辛	申・酉	太白(金星)
水	冬	北	黒(玄)	壬・癸	亥・子	辰星(水星)

【国際収支】

国際収支

経常収支	貿易・サービス収支
	所得収支
	経常移転収支
資本収支	投資収支
	その他資本収支
外貨準備高増減	
誤差脱漏	

【国際単位系】

SI基本単位

量	名称	記号
長さ	メートル	m
質量	キログラム	kg
時間	秒	s
電流	アンペア	A
熱力学温度	ケルビン	K
光度	カンデラ	cd
物質量	モル	mol
平面角	ラジアン	rad
立体角	ステラジアン	sr

SI接頭語

名称		記号	倍数
ヨタ	(yotta-)	Y	10^{24}
ゼタ	(zetta-)	Z	10^{21}
エクサ	(exa-)	E	10^{18}
ペタ	(peta-)	P	10^{15}
テラ	(tera-)	T	10^{12}
ギガ	(giga-)	G	10^{9}
メガ	(mega-)	M	10^{6}
キロ	(kilo-)	k	10^{3}
ヘクト	(hecto-)	h	10^{2}
デカ	(deca-)	da	10^{1}
デシ	(deci-)	d	10^{-1}
センチ	(centi-)	c	10^{-2}
ミリ	(milli-)	m	10^{-3}
マイクロ	(micro-)	μ	10^{-6}
ナノ	(nano-)	n	10^{-9}
ピコ	(pico-)	p	10^{-12}
フェムト	(femto-)	f	10^{-15}
アト	(atto-)	a	10^{-18}
ゼプト	(zepto-)	z	10^{-21}
ヨクト	(yocto-)	y	10^{-24}

【五胡十六国】

五胡十六国

五胡	十六国	年代
匈奴(きょうど)	前趙(漢)	304～329
	北涼	397～439
	夏(大夏)	407～431
羯(けつ)	後趙	319～351
鮮卑(せんぴ)	前燕	337～370
	後燕	384～409
	西秦	385～431
	南涼	397～414
	南燕	398～410
氐(てい)	成(大成・漢)	304～347
	前秦	351～394
	後涼	386～403
羌(きょう)	後秦	384～417
(漢族)	前涼	301～376
	西涼	400～421
	北燕	409～436

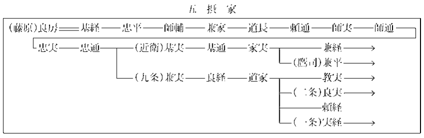
【国民の祝日】

国民の祝日

名称	月日	備考
元日	1月 1日	
成人の日	1月第2月曜日	
建国記念の日	2月11日	1966年制定
春分の日	3月21日頃	
みどりの日	4月29日	1989年制定
憲法記念日	5月 3日	
こどもの日	5月 5日	
海の日	7月20日	1995年制定
敬老の日	9月15日	1966年制定
秋分の日	9月23日頃	
体育の日	10月第2月曜日	1966年制定
文化の日	11月 3日	
勤労感謝の日	11月23日	
天皇誕生日	12月23日	1989年制定

【五摂家】

五摂家



【五代】

五代

王朝名	年代
後梁	907～923
後唐	923～936
後晋	936～946
後漢	947～950
後周	951～960

【五代十国】

十国

国名	年代
呉	902～937
南唐	937～975
前蜀	907～925
後蜀	934～965
荊南	907～963
楚	907～951
呉越	907～978
閩(びん)	909～945
南漢	917～971
北漢	951～979

【四国八十八箇所】

四国八十八箇所

県名	寺院名	県名	寺院名
徳島県	1 霊山寺	愛媛県	45 岩屋寺
	2 極楽寺		46 浄瑠璃寺
	3 金泉寺		47 八坂寺
板野	4 大日寺		48 西林寺
	5 地蔵寺		49 浄土寺
	6 安楽寺		50 繁多寺
	7 十楽寺		51 石手寺
	8 熊谷寺		52 太山寺
	9 法輪寺		53 円明寺
	10 切幡寺		54 延命寺
	11 藤井寺		55 南光坊
	12 焼山寺		56 泰山寺
徳島市	13 大日寺		57 栄福寺
	14 常楽寺		58 仙遊寺
	15 国分寺		59 国分寺
	16 観音寺		60 横峰寺
	17 井戸寺		61 香園寺
	18 恩山寺		62 宝寿寺
	19 立江寺		63 吉祥寺
	20 鶴林寺		64 前神寺
	21 太竜寺		65 三角寺
	22 平等寺	徳島県	66 雲辺寺
	23 薬王寺	香川県	67 大興寺
高知県	24 最御崎寺		68 神恵院
	25 津照寺		69 観音寺
	26 金剛頂寺		70 本山寺
	27 神峰寺		71 弥谷寺
	28 大日寺		72 曼荼羅寺
	29 国分寺		73 出釈迦寺
	30 善楽寺		74 甲山寺
	安楽寺		75 善通寺
	31 竹林寺		76 金蔵(倉)寺
	32 禅師峰寺		77 道隆寺
	33 雪蹊寺		78 郷照寺
	34 種間寺		79 高照院
	35 清滝寺		80 国分寺
	36 青竜寺		81 白峰寺
	37 岩本寺		82 根香寺
	38 金剛福寺		83 一宮寺
	39 延光寺		84 屋島寺
愛媛県	40 観自在寺		85 八栗寺
	41 竜光寺		86 志度寺
	42 仏木寺		87 長尾寺
	43 明石寺		88 大窪寺
	44 大宝寺		

【執権】

執権3

代数	氏名	在職期間	没年
1	北条時政	1203～1205	1215
2	北条義時	1205～1224	1224
3	北条泰時	1224～1242	1242
4	北条経時	1242～1246	1246
5	北条時頼	1246～1256	1263
6	北条長時	1256～1264	1264
7	北条政村	1264～1268	1273
8	北条時宗	1268～1284	1284
9	北条貞時	1284～1301	1311
10	北条師時	1301～1311	1311
11	北条(大仏)宗宣	1311～1312	1312
12	北条熙時	1312～1315	1315
13	北条基時	1315	1333
14	北条高時	1316～1326	1333
15	北条(金沢)貞顕	1326	1333
16	北条(赤橋)守時	1326～1333	1333

【四等官】

四等官

	長官(かみ)	次官(すけ)	判官(じょう)	主典(さかん)
神祇官	伯	副	祐	史
太政官	(太政大臣),左大臣,右大臣	大納言,中納言	少納言,弁	外記,史
省	卿	輔	丞	録
坊・職	大夫	亮	進	属
寮	頭	助	允	属
台	尹	弼	忠	疏
五衛府	督	佐	尉	志
大宰府	帥	弐	監	典
国	守	介	掾	目
郡	大領	少領	主政	主帳
司	正	(佑)	佑	令史
内侍司	尚侍	典侍	掌侍	
監	正		佑	令史
署	首		佑	令史
家令	令	扶	従	書吏

【西国三十三所】

西国三十三所

府県名	寺名	府県名	寺名
和歌山県	1 青岸渡寺	京都府	18 頂法寺(六角堂)
	2 紀三井寺(金剛宝寺)		19 行願寺(革堂)
	3 粉河(こかわ)寺		20 善峰(よしみね)寺
大阪府	4 施福寺(槇尾寺)		21 穴太(あなお)寺
	5 葛(藤)井寺(剛琳寺)	大阪府	22 総持寺
奈良県	6 壺阪寺(南法華寺)		23 勝尾(かつお)寺
	7 岡寺(竜蓋寺)	兵庫県	24 中山寺
	8 長谷寺(初瀬寺)		25 清水寺
	9 興福寺南円堂		26 一乗寺
京都府	10 三室戸寺		27 円教寺
	11 上醍醐寺	京都府	28 成相(なりあい)寺
滋賀県	12 正法(しょうぼう)寺(岩間寺)		29 松尾(まつのお)寺
	13 石山寺	滋賀県	30 宝厳(ほうごん)寺
	14 三井寺(園城寺)		31 長命寺
京都府	15 観音寺(今熊野)		32 観音正寺
	16 清水(きよみず)寺	岐阜県	33 華厳寺
	17 六波羅蜜寺		

【私年号】

私年号(日本の主な私年号)

名称	使用例	名称	使用例
法興(ほうこう)	6年(596)・31年(621)	延徳(えんとく)	2・3・5年　2年壬午・3年壬午(1462)など
白鳳(はくほう)	4(653)・5(654)・12(661)・13(662)・16(665)年 白雉の異称	正享(しょうこう)	2年(1490)
朱雀(すざく)	元年(686)　朱鳥の異称	永伝(えいでん)	元年(1490)
保寿(ほうじゅ)	元年　1166～69年頃使用	福徳(ふくとく)	元・2・3・4年　辛亥年(1491)ほかに使用
和勝(わしょう)	元年(1190)	徳応(とくおう)	元年(1501または1441)
迎雲(げいうん)	元年　1190年もしくはそれ以前使用	子平(しへい)	5年(1506)
建教(けんきょう)	元年(1225)	弥勒(みろく)	元・2・3年　丁卯年(1507)ほかに使用
白鹿(はくろく)	元年(1345)・2年(1346)	加平(かへい)	元年(1517)
応治(おうじ)	元年(1345)	永喜(えいき)	2年(1527)
至大(しだい)	元年　1375～79年，または81～87年頃使用	宝寿(ほうじゅ)	2年(1534)
永宝(えいほう)	元年(1388)	命禄(めいろく)	元・2・3年(1540～42)
興徳(こうとく)	元年(1395)	光永(こうえい)	2年(1577または81または90)
天晴(てんせい)	元年(1443)	大道(だいどう)	元・2・10年　1609年頃以降使用，大筒とも書く
享正(きょうせい)	2(1455)・3(1456)・4(1457)年	正中(しょうちゅう)	2年(1622)
永楽(えいらく)	元年(1461)	神治(しんじ)	元年(1867)

( )内は相当する西暦年次。年次判定の困難なものは注記した。

【十干】

十干

甲	こう	きのえ	木の兄
乙	おつ	きのと	木の弟
丙	へい	ひのえ	火の兄
丁	てい	ひのと	火の弟
戊	ぼ	つちのえ	土の兄
己	き	つちのと	土の弟
庚	こう	かのえ	金の兄
辛	しん	かのと	金の弟
壬	じん	みずのえ	水の兄
癸	き	みずのと	水の弟

【尺貫法】

長さ

1尺		30.30 cm
1間	6尺	1.818 m
1町	60間	109.1 m
1里	36町	3.927 km

体積

1合		180.4 mℓ
1升	10合	1.804 ℓ
1斗	10升	18.04 ℓ
1石	10斗	180.4 ℓ

面積

1坪		3.306 m^2
1反	300坪	991.7 m^2
1町	10反	9917 m^2

質量

1匁		3.75 g
1斤	160匁	600 g
1貫	1000匁	3.75 kg

【十干十二支】

十干十二支

干支の60通りの組合せを実際の年(最近120年)に当てはめた

	干支	西暦	和暦	西暦	和暦		干支	西暦	和暦	西暦	和暦
1	甲子(きのえね)	1984	昭59	1924	大13	31	甲午(きのえうま)	1894	明27	1954	昭29
2	乙丑(きのとうし)	1985	60	1925	14	32	乙未(きのとひつじ)	1895	28	1955	30
3	丙寅(ひのえとら)	1986	61	1926	昭和	33	丙申(ひのえさる)	1896	29	1956	31
4	丁卯(ひのとう)	1987	62	1927	2	34	丁酉(ひのととり)	1897	30	1957	32
5	戊辰(つちのえたつ)	1988	63	1928	3	35	戊戌(つちのえいぬ)	1898	31	1958	33
6	己巳(つちのとみ)	1989	平成	1929	4	36	己亥(つちのとい)	1899	32	1959	34
7	庚午(かのえうま)	1990	2	1930	5	37	庚子(かのえね)	1900	33	1960	35
8	辛未(かのとひつじ)	1991	3	1931	6	38	辛丑(かのとうし)	1901	34	1961	36
9	壬申(みずのえさる)	1992	4	1932	7	39	壬寅(みずのえとら)	1902	35	1962	37
10	癸酉(みずのととり)	1993	5	1933	8	40	癸卯(みずのとう)	1903	36	1963	38
11	甲戌(きのえいぬ)	1994	6	1934	9	41	甲辰(きのえたつ)	1904	37	1964	39
12	乙亥(きのとい)	1995	7	1935	10	42	乙巳(きのとみ)	1905	38	1965	40
13	丙子(ひのえね)	1996	8	1936	11	43	丙午(ひのえうま)	1906	39	1966	41
14	丁丑(ひのとうし)	1997	9	1937	12	44	丁未(ひのとひつじ)	1907	40	1967	42
15	戊寅(つちのえとら)	1998	10	1938	13	45	戊申(つちのえさる)	1908	41	1968	43
16	己卯(つちのとう)	1879	明12	1939	14	46	己酉(つちのととり)	1909	42	1969	44
17	庚辰(かのえたつ)	1880	13	1940	15	47	庚戌(かのえいぬ)	1910	43	1970	45
18	辛巳(かのとみ)	1881	14	1941	16	48	辛亥(かのとい)	1911	44	1971	46
19	壬午(みずのえうま)	1882	15	1942	17	49	壬子(みずのえね)	1912	大正	1972	47
20	癸未(みずのとひつじ)	1883	16	1943	18	50	癸丑(みずのとうし)	1913	2	1973	48
21	甲申(きのえさる)	1884	17	1944	19	51	甲寅(きのえとら)	1914	3	1974	49
22	乙酉(きのととり)	1885	18	1945	20	52	乙卯(きのとう)	1915	4	1975	50
23	丙戌(ひのえいぬ)	1886	19	1946	21	53	丙辰(ひのえたつ)	1916	5	1976	51
24	丁亥(ひのとい)	1887	20	1947	22	54	丁巳(ひのとみ)	1917	6	1977	52
25	戊子(つちのえね)	1888	21	1948	23	55	戊午(つちのえうま)	1918	7	1978	53
26	己丑(つちのとうし)	1889	22	1949	24	56	己未(つちのとひつじ)	1919	8	1979	54
27	庚寅(かのえとら)	1890	23	1950	25	57	庚申(かのえさる)	1920	9	1980	55
28	辛卯(かのとう)	1891	24	1951	26	58	辛酉(かのととり)	1921	10	1981	56
29	壬辰(みずのえたつ)	1892	25	1952	27	59	壬戌(みずのえいぬ)	1922	11	1982	57
30	癸巳(みずのとみ)	1893	26	1953	28	60	癸亥(みずのとい)	1923	12	1983	58

【周期表】

元素の周期表

周期＼族	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
1	1H 水素																	2He ヘリウム
2	3Li リチウム	4Be ベリリウム											5B ホウ素	6C 炭素	7N 窒素	8O 酸素	9F フッ素	10Ne ネオン
3	11Na ナトリウム	12Mg マグネシウム											13Al アルミニウム	14Si ケイ素	15P リン	16S 硫黄	17Cl 塩素	18Ar アルゴン
4	19K カリウム	20Ca カルシウム	21Sc スカンジウム	22Ti チタン	23V バナジウム	24Cr クロム	25Mn マンガン	26Fe 鉄	27Co コバルト	28Ni ニッケル	29Cu 銅	30Zn 亜鉛	31Ga ガリウム	32Ge ゲルマニウム	33As ヒ素	34Se セレン	35Br 臭素	36Kr クリプトン
5	37Rb ルビジウム	38Sr ストロンチウム	39Y イットリウム	40Zr ジルコニウム	41Nb ニオブ	42Mo モリブデン	43Tc テクネチウム	44Ru ルテニウム	45Rh ロジウム	46Pd パラジウム	47Ag 銀	48Cd カドミウム	49In インジウム	50Sn スズ	51Sb アンチモン	52Te テルル	53I ヨウ素	54Xe キセノン
6	55Cs セシウム	56Ba バリウム	57～71 ランタノイド	72Hf ハフニウム	73Ta タンタル	74W タングステン	75Re レニウム	76Os オスミウム	77Ir イリジウム	78Pt 白金	79Au 金	80Hg 水銀	81Tl タリウム	82Pb 鉛	83Bi ビスマス	84Po ポロニウム	85At アスタチン	86Rn ラドン
7	87Fr フランシウム	88Ra ラジウム	89～103 アクチノイド	104Rf ラザホージウム	105Db ドブニウム	106Sg シーボーギウム	107Bh ボーリウム	108Hs ハッシウム	109Mt マイトネリウム									

ランタノイド	57La ランタン	58Ce セリウム	59Pr プラセオジム	60Nd ネオジム	61Pm プロメチウム	62Sm サマリウム	63Eu ユウロピウム	64Gd ガドリニウム	65Tb テルビウム	66Dy ジスプロシウム	67Ho ホルミウム	68Er エルビウム	69Tm ツリウム	70Yb イッテルビウム	71Lu ルテチウム
アクチノイド	89Ac アクチニウム	90Th トリウム	91Pa プロトアクチニウム	92U ウラン	93Np ネプツニウム	94Pu プルトニウム	95Am アメリシウム	96Cm キュリウム	97Bk バークリウム	98Cf カリホルニウム	99Es アインスタイニウム	100Fm フェルミウム	101Md メンデレビウム	102No ノーベリウム	103Lr ローレンシウム

元素記号の左の数字は原子番号

【十三経注疏】

十三経注疏

十三経	巻数	注・伝・箋・解	疏
周易(易経)	10	王弼(おうひつ)(魏) 注 韓康伯(晋) 注	孔穎達(くえいたつ)(唐)
尚書(書経)	20	孔安国(漢) 伝	孔穎達(唐)
毛詩(詩経)	70	毛亨(もうこう)(漢) 伝 鄭玄(じょうげん)(漢) 箋	孔穎達(唐)
周礼	42	鄭玄(漢) 注	賈公彦(かこうげん)(唐)
儀礼	50	鄭玄(漢) 注	賈公彦(唐)
礼記	63	鄭玄(漢) 注	孔穎達(唐)
春秋左氏伝	60	杜預(どよ)(晋) 集解	孔穎達(唐)
春秋公羊伝	28	何休(漢) 解詁	徐彦(じょげん)(唐)
春秋穀梁伝	20	范寧(晋) 集解	楊士勛(ようしくん)(唐)
孝経	9	玄宗(唐) 注	邢昺(けいへい)(宋)
論語	20	何晏(かあん)(魏) 集解	邢昺(宋)
孟子	14	趙岐(漢) 注	孫奭(そんせき)(宋)
爾雅	11	郭璞(かくはく)(晋) 注	邢昺(宋)

【十三仏】

十三仏

仏事	仏・菩薩
初七日	不動明王
二七日	釈迦如来
三七日	文殊菩薩
四七日	普賢菩薩
五七日	地蔵菩薩
六七日	弥勒菩薩
七七日	薬師如来
百ヵ日	観世音菩薩
一周忌	勢至菩薩
三回忌	阿弥陀如来
七回忌	阿閦如来
十三回忌	大日如来
三十三回忌	虚空蔵菩薩

【十二門】

十二門(平安京大内裏，外郭十二門)

		延喜式の名称	貞観式の名称
南面	東門	美福門(びふくもん)	壬生門(みぶもん)
	中門	朱雀門(すざくもん)	大伴門(おおとももん)
	西門	皇嘉門(こうかもん)	若犬養門(わかいぬかいもん)
西面	南門	談天門(だんてんもん)	玉手門(たまでもん)
	中門	藻壁門(そうへきもん)	佐伯門(さえきもん)
	北門	殷富門(いんぷもん)	伊福部門(いふくべもん)
北面	西門	安嘉門(あんかもん)	海犬養門(あまいぬかいもん)
	中門	偉鑒門(いかんもん)	猪使門(いかいもん)
	東門	達智門(たっちもん)	丹治比門(たじひもん)
東面	北門	陽明門(ようめいもん)	山門(やまもん)
	中門	待賢門(たいけんもん)	建部門(たけべもん)
	南門	郁芳門(いくほうもん)	的門(いくはもん)

【十二神将】

十二神将

夜叉大将	本地仏	刻神
1 宮毘羅(くびら)	弥勒	子
2 伐折羅(ばざら)	勢至	丑
3 迷企羅(めきら)	弥陀	寅
4 安底羅(あんちら)	観音	卯
5 頞儞羅(あにら)	如意輪	辰
6 珊底羅(さんちら)	虚空蔵	巳
7 因達羅(いんだら)	地蔵	午
8 波夷羅(はいら)	文殊	未
9 摩虎羅(まこら)	大威徳	申
10 真達羅(しんだら)	普賢	酉
11 招杜羅(しょうとら)	大日	戌
12 毘羯羅(びから)	釈迦	亥

【十二律】

十二律

中国	日本			洋楽の近似音名
	雅楽	義太夫節	その他	
黄鐘(こうしょう)	壱越(いちこつ)	一本	六本	ニ
大呂(たいりょ)	断金(たんぎん)	二本	七本	嬰ニ(変ホ)
太簇(たいそう)	平調(ひょうじょう)	三本	八本	ホ
夾鐘(きょうしょう)	勝絶(しょうぜつ)	四本	九本	ヘ
姑洗(こせん)	下無(しもむ)	五本	十本	嬰ヘ(変ト)
仲呂(ちゅうりょ)	双調(そうじょう)	六本	十一本	ト
蕤賓(すいひん)	鳧鐘(ふしょう)	七本	十二本	嬰ト(変イ)
林鐘(りんしょう)	黄鐘(おうしき)	八本	一本	イ
夷則(いそく)	鸞鏡(らんけい)	九本	二本	嬰イ(変ロ)
南呂(なんりょ)	盤渉(ばんしき)	十本	三本	ロ
無射(ぶえき)	神仙(しんせん)	十一本	四本	ハ
応鐘(おうしょう)	上無(かみむ)	十二本	五本	嬰ハ(変ニ)

【十八檀林】

十八檀林

旧国・地域名	寺院名
相模・鎌倉	光明寺
武蔵・鴻巣	勝願寺
常陸・瓜連	常福寺
江戸・芝	増上寺
下総・飯沼	弘経寺
下総・小金	東漸寺
下総・生実	大巌寺
武蔵・川越	蓮馨寺
武蔵・滝山	大善寺
武蔵・岩槻	浄国寺
常陸・江戸崎	大念寺
上野・館林	善導寺
下総・結城	弘経寺
江戸・本所	霊山寺
江戸・下谷	幡随院
江戸・小石川	伝通院
上野・新田	大光院
江戸・深川	霊巌寺

【植物帯】

植物帯(本州中部太平洋岸の垂直分布)

高度(m)	植物帯	代表的な植物
	高山草原(高山帯)	ヒゲハリスゲ ハイマツ
2300〜2500	針葉樹林帯(亜高山帯)	コメツガ トウヒ シラビソ
1500〜1700	夏緑樹林帯(山地帯)	ブナ・ミズナラ クリ・コナラ
500〜700	照葉樹林帯(低山帯・丘陵帯)	カシ シイ・タブ
0		

【諸子百家】

諸子百家

学派	主な学者・思想家または書名
儒家	孔子・曾子・子思・孟子・荀子
道家	老子・列子・荘子・関尹子
墨家	墨子・胡非子・随巣子
法家	申不害・商鞅・慎到・韓非
名家	公孫竜・恵施・尹文子・鄧析(とうせき)
農家	神農 野老 宰氏
縦横家	蘇秦・張儀
陰陽家	騶衍(鄒衍)(すうえん)・公孫発
兵家	孫武(孫子)・孫臏・呉起(呉子)
小説家	鬻子(いくし)・青史子・師曠(しこう)
雑家	呂不韋・淮南王安・東方朔

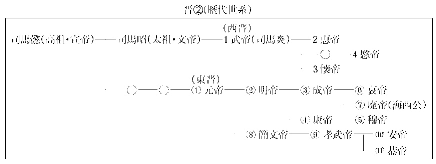
【植物ホルモン】

主な植物ホルモンと作用

	茎	葉	根	花	芽	果実	休眠	老化
オーキシン(インドール酢酸)	伸長	落葉抑制	発根, 伸長	花芽形成促進	側芽成長抑制	結実, 落果抑制		
ジベレリン	伸長	成長	伸長	開花促進		結実	−	−
サイトカイニン(カイネチン)	成長	成長			発芽促進	成長		
アブシジン酸		落葉	成長阻害		発芽抑制		+	+
エチレン	肥大	落葉	肥大, 不定根形成			成熟		+
ブラシノリド	伸長							

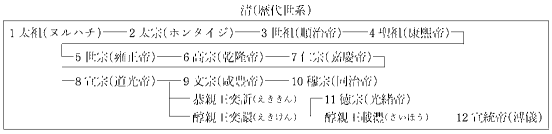
【晋】

晋②(歴代世系)

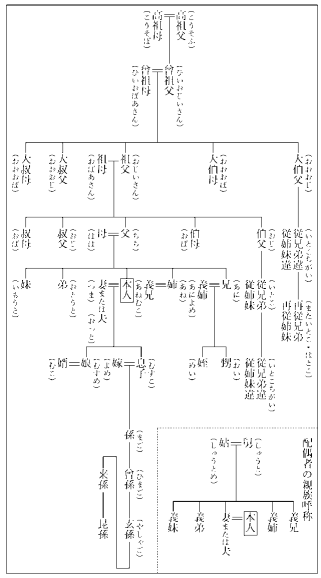


【清】

清(歴代世系)

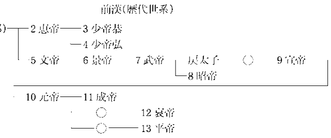


【親族】



【前漢】

前漢(歴代世系)



【震度階級】

気象庁震度階級関連解説表(一部)

震度階級	人間	屋内の状況	屋外の状況
0	人は揺れを感じない.		
1	屋内にいる人の一部が,わずかな揺れを感じる.		
2	屋内にいる人の多くが,揺れを感じる.眠っている人の一部が,目を覚ます.	電灯などのつり下げ物が,わずかに揺れる.	
3	屋内にいる人のほとんどが,揺れを感じる.恐怖感を覚える人もいる.	棚にある食器類が,音を立てることがある.	電線が少し揺れる.
4	かなりの恐怖感があり,一部の人は,身の安全を図ろうとする.眠っている人のほとんどが,目を覚ます.	つり下げ物は大きく揺れ,棚にある食器類は音を立てる.座りの悪い置物が,倒れることがある.	電線が大きく揺れる.歩いている人も揺れを感じる.自動車を運転していて,揺れに気付く人がいる.
5弱	多くの人が,身の安全を図ろうとする.一部の人は,行動に支障を感じる.	つり下げ物は激しく揺れ,棚にある食器類,書棚の本が落ちることがある.座りの悪い置物の多くが倒れ,家具が移動することがある.	窓ガラスが割れて落ちることがある.電柱が揺れるのがわかる.補強されていないブロック塀が崩れることがある.道路に被害が生じることがある.
5強	非常な恐怖を感じる.多くの人が,行動に支障を感じる.	棚にある食器類,書棚の本の多くが落ちる.テレビが台から落ちることがある.タンスなど重い家具が倒れることがある.変形によりドアが開かなくなることがある.一部の戸が外れる.	補強されていないブロック塀の多くが崩れる.据付けが不十分な自動販売機が倒れることがある.多くの墓石が倒れる.自動車の運転が困難となり,停止する車が多い.
6弱	立っていることが困難になる.	固定していない重い家具の多くが移動,転倒する.開かなくなるドアが多い.	かなりの建物で,壁のタイルや窓ガラスが破損,落下する.
6強	立っていることができず,はわないと動くことができない.	固定していない重い家具のほとんどが移動,転倒する.戸が外れて飛ぶことがある.	多くの建物で,壁のタイルや窓ガラスが破損,落下する.補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる.
7	揺れにほんろうされ,自分の意志で行動できない.	ほとんどの家具が大きく移動し,飛ぶものもある.	ほとんどの建物で,壁のタイルや窓ガラスが破損,落下する.補強されているブロック塀も破損するものがある.

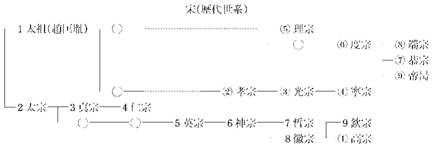
【染色体】

生物の染色体数(核相:$2n$)

ヒト	46	ハツカネズミ	40	サツマイモ	90
チンパンジー	48	カンガルー	16	ジャガイモ	48
キリン	30	ニワトリ(♂)	78	アサガオ	30
ウシ・ヤギ	60	ヒキガエル	22	ホウレンソウ	12
トナカイ	70	イモリ	24	タマネギ	16
インドサイ	84	コイ	104	エンドウ	14
ゾウ	56	メダカ	48	ムラサキツユクサ	24
オットセイ	36	アメリカザリガニ	200	イネ	24
ネコ・トラ	38	カイコ	56	オオムギ	14
イヌ・コヨーテ	78	ショウジョウバエ	8	パンコムギ	42
キツネ	36	アカイエカ	6	アカマツ	24
タヌキ	42	ヒドラ	32	イチョウ	24
ナガスクジラ	44	ウマノカイチュウ	2	ゼンマイ	44
ウサギ	44	スイレン	112	コンブ・ワカメ	44
モルモット	64	オシロイバナ	58	クロカビ	4

【宋】

宋(歴代世系)



丸中数字は南宋の歴代

【奏法記号】

奏法記号の例

記号	標語		意味
など	アルペッジョ	arpeggio	和音を分散和音として順々に奏する
gliss.	グリッサンド	glissando	広い音域を急速にすべるように奏する
	コン・ソルディーノ	con sordino	弱音器を使用する
・	スタッカート	staccato	一音一音を切り離して奏する
	ソステヌート	sostenuto	音の長さを十分に保って(速度標語と組合せて)
— ten.	テヌート	tenuto	ある一個の音の長さを十分に保って
など	トレモロ	tremolo	一音または二音を急速に反復して
pizz.	ピッチカート	pizzicato	指で弦を弾いて奏する
𝄐	フェルマータ	fermata	その音符・休止符を任意の長さで奏する
∨	ブレス	breath	息つぎをする
	ポルタメント	portamento	次の音へ音程をずらせながら移動する
marc.	マルカート	marcato	一音一音はっきりと奏する
	レガート	legato	滑らかに
⌒	スラー	slur	レガートの記号(弦楽器ではひと弓で奏する指示)

【速度標語】

速度標語の例

標語		意味
ラルゴ	largo	ゆっくりと, 豊かに
ラルゲット	larghetto	ゆっくりと(ラルゴよりやや速く)
レント	lento	遅く, ゆっくりと
アダージョ	adagio	ゆるやかに
アンダンテ	andante	歩くくらいの速さで, ゆるやかに
モデラート	moderato	中くらいの速さで
アレグロ	allegro	速く
ヴィヴァーチェ	vivace	生き生きと, きわめて速く
プレスト	presto	急速に
リタルダンド	ritardando(rit.)	次第に遅く
ラレンタンド	rallentando(rall.)	次第に遅く
アッチェレランド	accelerando(accel.)	次第に速く
メノ・モッソ	meno mosso	(今までより)もっと遅く
ア・テンポ	a tempo	もとの速さで
テンポ・プリモ	tempo primo	初めの速さで
アッサイ	assai	十分に, 非常に
モルト	molto	きわめて, はなはだ
ポコ	poco	すこし(poco a poco すこしずつ)
ノン・トロッポ	non troppo	あまり…すぎないように

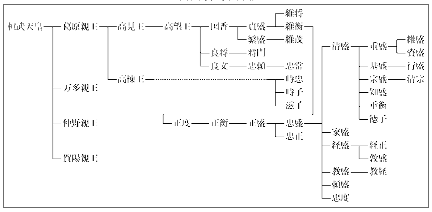
【大名】

大名(近世大名の分類)

親藩		三家(尾張・紀伊・水戸)・三卿(田安・一橋・清水)・家門(福井・松江・津山・高松・西条・浜田・会津などの松平と久松)
譜代大名		井伊・酒井・本多・榊原・大久保・土井・水野・戸田・小笠原・牧野・内藤・稲葉・堀田・阿部・久世・間部・松平(家康以前の分流)ほか
外様大名	旧族大名	伊達・島津・毛利・上杉・佐竹・鍋島・津軽・南部・松浦・大村・宗・相良ほか
	織豊大名	前田・細川・黒田・浅野・池田(岡山・鳥取)・山内・蜂須賀・藤堂・仙石・有馬ほか

【平】

平(桓武平氏略系図)



【地質年代】

地質年代

代	紀	世	年代
			現在
新生代	第四紀	完新世	1万年前
		更新世	180万年前
	第三紀	鮮新世	530万年前
		中新世	2300万年前
		漸新世	3400万年前
		始新世	5300万年前
		暁新世	6500万年前
中生代	白亜紀		1.4億年前
	ジュラ紀		2.0億年前
	三畳紀		2.5億年前
古生代	ペルム紀		2.9億年前
	石炭紀		3.6億年前
	デボン紀		4.1億年前
	シルル紀		4.4億年前
	オルドビス紀		5.0億年前
	カンブリア紀		5.4億年前
先カンブリア時代	原生代		25億年前
	始生代		46億年前

【秩父三十三所】

秩父三十三所

市・郡名	寺院名	市・郡名	寺院名
秩父市	1 妙音寺	秩父市	18 神門寺
	2 真福寺		19 竜石寺
	3 常泉寺		20 岩之上堂
	4 金昌寺		21 観音寺
秩父郡	5 長興寺		22 栄(永)福寺
	6 卜雲寺		23 音楽寺
	7 法長寺		24 法泉寺
	8 西善寺		25 久昌寺
	9 明智寺		26 円融寺
	10 大慈寺		27 大淵寺
秩父市	11 常楽寺		28 橋立寺
	12 野坂寺	秩父郡	29 長泉院
	13 慈眼寺		30 法雲寺
	14 今宮坊		31 観音院
	15 少林寺		32 法性寺
	16 西光寺		33 菊水寺
	17 定林寺		34 水潜寺

【中国】

中国(歴代王朝)

王朝名	初代	年代	王朝名	初代	年代
夏	禹	?	東晋	元帝(司馬睿)	317〜420
殷(商)	湯王	?〜紀元前1100頃	五胡十六国		304〜439
周	武王	前1100頃〜前256	南北朝時代		439〜589
春秋時代		前770〜前403	隋	文帝(楊堅)	581〜619
戦国時代		前403〜前221	唐	高祖(李淵)	618〜907
秦	始皇帝	前221〜前206	五代十国		907〜960(979)
前漢	高祖(劉邦)	前202〜後8	宋(北宋)	太祖(趙匡胤)	960〜1127
新	王莽	8〜23	南宋	高宗(趙構)	1127〜1279
後漢	光武帝(劉秀)	25〜220	遼	太祖(耶律阿保機)	916〜1125
三国時代(魏・呉・蜀)	曹丕・孫権・劉備	220〜265(280)	金	太祖(阿骨打)	1115〜1234
		(蜀は221〜263)	元	世祖(フビライ)	1271〜1368
		(呉は222〜280)	明	太祖(朱元璋)	1368〜1644
晋(西晋)	武帝(司馬炎)	265〜316	清	太祖(ヌルハチ)	1616〜1912

【天気記号】

天気記号(日本式)

天気記号	天気	天気記号	天気
○	快晴	●ニ	にわか雨
⦶	晴	◒	みぞれ
◎	曇	⊗	雪
(∞)	煙霧	⊗ツ	雪強し
(S)	ちり煙霧	⊗ニ	にわか雪
(S̶)	砂じんあらし	(△)	あられ
(↑)	地ふぶき	(▲)	ひょう
⊙	霧	◓	雷
●キ	霧雨	◓ツ	雷強し
●	雨	⊗	天気不明
●ツ	雨強し		

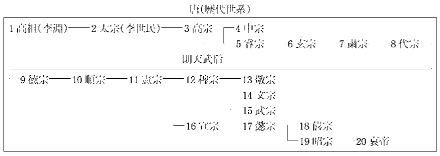
【天皇】

天皇

1 神武(じんむ)天皇	34 舒明(じょめい)天皇	67 三条(さんじょう)天皇	後光厳(ごこうごん)天皇(北朝4)
2 綏靖(すいぜい)天皇	35 皇極(こうぎょく)天皇	68 後一条(ごいちじょう)天皇	後円融(ごえんゆう)天皇(北朝5)
3 安寧(あんねい)天皇	36 孝徳(こうとく)天皇	69 後朱雀(ごすざく)天皇	97 後村上(ごむらかみ)天皇(南朝2)
4 懿徳(いとく)天皇	37 斉明(さいめい)天皇	70 後冷泉(ごれいぜい)天皇	98 長慶(ちょうけい)天皇(南朝3)
5 孝昭(こうしょう)天皇	38 天智(てんじ)天皇	71 後三条(ごさんじょう)天皇	99 後亀山(ごかめやま)天皇(南朝4)
6 孝安(こうあん)天皇	39 弘文(こうぶん)天皇	72 白河(しらかわ)天皇	100 後小松(ごこまつ)天皇
7 孝霊(こうれい)天皇	40 天武(てんむ)天皇	73 堀河(ほりかわ)天皇	101 称光(しょうこう)天皇
8 孝元(こうげん)天皇	41 持統(じとう)天皇	74 鳥羽(とば)天皇	102 後花園(ごはなぞの)天皇
9 開化(かいか)天皇	42 文武(もんむ)天皇	75 崇徳(すとく)天皇	103 後土御門(ごつちみかど)天皇
10 崇神(すじん)天皇	43 元明(げんめい)天皇	76 近衛(このえ)天皇	104 後柏原(ごかしわばら)天皇
11 垂仁(すいにん)天皇	44 元正(げんしょう)天皇	77 後白河(ごしらかわ)天皇	105 後奈良(ごなら)天皇
12 景行(けいこう)天皇	45 聖武(しょうむ)天皇	78 二条(にじょう)天皇	106 正親町(おおぎまち)天皇
13 成務(せいむ)天皇	46 孝謙(こうけん)天皇	79 六条(ろくじょう)天皇	107 後陽成(ごようぜい)天皇
14 仲哀(ちゅうあい)天皇	47 淳仁(じゅんにん)天皇	80 高倉(たかくら)天皇	108 後水尾(ごみずのお)天皇
15 応神(おうじん)天皇	48 称徳(しょうとく)天皇	81 安徳(あんとく)天皇	109 明正(めいしょう)天皇
16 仁徳(にんとく)天皇	49 光仁(こうにん)天皇	82 後鳥羽(ごとば)天皇	110 後光明(ごこうみょう)天皇
17 履中(りちゅう)天皇	50 桓武(かんむ)天皇	83 土御門(つちみかど)天皇	111 後西(ごさい)天皇
18 反正(はんぜい)天皇	51 平城(へいぜい)天皇	84 順徳(じゅんとく)天皇	112 霊元(れいげん)天皇
19 允恭(いんぎょう)天皇	52 嵯峨(さが)天皇	85 仲恭(ちゅうきょう)天皇	113 東山(ひがしやま)天皇
20 安康(あんこう)天皇	53 淳和(じゅんな)天皇	86 後堀河(ごほりかわ)天皇	114 中御門(なかみかど)天皇
21 雄略(ゆうりゃく)天皇	54 仁明(にんみょう)天皇	87 四条(しじょう)天皇	115 桜町(さくらまち)天皇
22 清寧(せいねい)天皇	55 文徳(もんとく)天皇	88 後嵯峨(ごさが)天皇	116 桃園(ももぞの)天皇
23 顕宗(けんぞう)天皇	56 清和(せいわ)天皇	89 後深草(ごふかくさ)天皇	117 後桜町(ごさくらまち)天皇
24 仁賢(にんけん)天皇	57 陽成(ようぜい)天皇	90 亀山(かめやま)天皇	118 後桃園(ごももぞの)天皇
25 武烈(ぶれつ)天皇	58 光孝(こうこう)天皇	91 後宇多(ごうだ)天皇	119 光格(こうかく)天皇
26 継体(けいたい)天皇	59 宇多(うだ)天皇	92 伏見(ふしみ)天皇	120 仁孝(にんこう)天皇
27 安閑(あんかん)天皇	60 醍醐(だいご)天皇	93 後伏見(ごふしみ)天皇	121 孝明(こうめい)天皇
28 宣化(せんか)天皇	61 朱雀(すざく)天皇	94 後二条(ごにじょう)天皇	122 明治天皇
29 欽明(きんめい)天皇	62 村上(むらかみ)天皇	95 花園(はなぞの)天皇	123 大正天皇
30 敏達(びだつ)天皇	63 冷泉(れいぜい)天皇	96 後醍醐(ごだいご)天皇(南朝1)	124 昭和天皇
31 用明(ようめい)天皇	64 円融(えんゆう)天皇	光厳(こうごん)天皇(北朝1)	125 今上天皇
32 崇峻(すしゅん)天皇	65 花山(かざん)天皇	光明(こうみょう)天皇(北朝2)	
33 推古(すいこ)天皇	66 一条(いちじょう)天皇	崇光(すこう)天皇(北朝3)	

【唐】

唐(歴代世系)



【東海道五十三次】

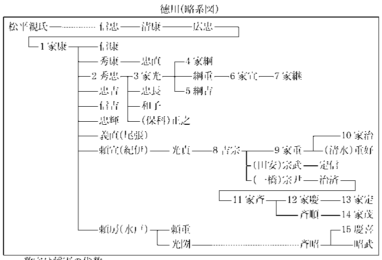
東海道五十三次(宿駅一覧)

(江戸日本橋)—品川—川崎—神奈川—保土ヶ谷—戸塚—藤沢—平塚—大磯—
小田原—箱根—三島—沼津—原—吉原—蒲原—由比(由井)—興津—江尻—
府中—丸子(鞠子)—岡部—藤枝—島田—金谷—日坂—掛川—袋井—
見附—浜松—舞坂—新居—白須賀—二川—吉田—御油—赤坂—
藤川—岡崎—池鯉鮒—鳴海—熱田(宮)—桑名—四日市—石薬師—庄野—
亀山—関—坂(之)下—土山—水口—石部—草津—大津—(京都三条大橋)

ほかに〔京街道〕として(京都)—伏見—淀—枚方—守口—(大坂)

【徳川】

徳川(略系図)



数字は将軍の代数

【中山道】

中山道(宿駅一覧)

(江戸日本橋)—板橋—蕨—浦和—大宮—上尾—桶川—鴻巣—熊谷—
深谷—本庄—新町—倉賀野—高崎—板鼻—安中—松井田—坂本—
軽井沢—沓掛—追分—小田井—岩村田—塩名田—八幡—望月—芦田—
長窪—和田—下諏訪—塩尻—洗馬—本山—贄川—奈良井—藪原—宮越—
福島—上松—須原—野尻—三留野—妻籠—馬籠—落合—中津川—大井—
大久手—細久手—御嶽—伏見—太田—鵜沼—加納—河渡—美江寺—
赤坂—垂井—関ヶ原—今須—柏原—醒井—番場—鳥居本—高宮—
愛知川—武佐—守山—草津—大津—(京都三条大橋)

【南北朝時代】

南北朝時代①

南朝
宋(420〜479)→斉(479〜502)→梁(502〜557)→陳(557〜589)

北朝
北魏(386〜534)→東魏(534〜550)→北斉(550〜577)
　　　　　　　→西魏(534〜556)→北周(556〜581)

( )内は興亡の年代

【二十四史】

二十四史(正史)一覧

書名	巻数	編著者	成立年代		書名	巻数	編著者	成立年代	
史記	130	司馬遷	前漢	前91年頃	南史	80	李延寿	唐	659
漢書	100	班固	後漢	後82年頃	北史	100	李延寿	唐	659
後漢書	120	范曄	南朝宋	432年頃	旧唐書	200	劉昫ほか	後晋	945
三国志	65	陳寿	西晋	3世紀末	新唐書	225	欧陽修ほか	宋	1060
晋書	130	房玄齢ほか	唐	648	旧五代史	150	薛居正ほか	宋	974
宋書	100	沈約	南斉	488	新五代史	74	欧陽修	宋	1053
南斉書	59	蕭子顕	梁	6世紀前半	宋史	496	脱脱ほか	元	1345
梁書	56	姚思廉	唐	636	遼史	116	脱脱ほか	元	1345
陳書	36	姚思廉	唐	636	金史	135	脱脱ほか	元	1345
魏書	130	魏収	北斉	554	元史	210	宋濂ほか	明	1370
北斉書	50	李百薬ほか	唐	636	明史	332	張廷玉ほか	清	1739
周書	50	令狐徳棻ほか	唐	636	新元史	257	柯劭忞	民国	1919
隋書	85	魏徴ほか	唐	636・656					

【二十四節気】

二十四節気

季節	名称	概略日付	季節	名称	概略日付
春	立春	2月4日	秋	立秋	8月8日
	雨水	2月19日		処暑	8月24日
	啓蟄	3月6日		白露	9月8日
	春分	3月21日		秋分	9月23日
	清明	4月5日		寒露	10月9日
	穀雨	4月20日		霜降	10月24日
夏	立夏	5月6日	冬	立冬	11月8日
	小満	5月21日		小雪	11月23日
	芒種	6月6日		大雪	12月8日
	夏至	6月22日		冬至	12月22日
	小暑	7月8日		小寒	1月6日
	大暑	7月23日		大寒	1月20日

【日光街道】

日光街道(宿駅一覧)

(江戸日本橋)—千住—草加—越ヶ谷—粕壁—杉戸—幸手—〔栗橋　中田〕—
古河—野木—間々田—小山—新田—小金井—石橋—雀宮—宇都宮—
〔下徳次郎　中徳次郎　上徳次郎〕—大沢—今市—鉢石—(日光坊中)

〔　〕内は交代継立ての宿

【能楽】

能楽の流派

分類		流派名
立方	シテ方	観世(かんぜ)　宝生(ほうしょう)　金春(こんぱる)　金剛(こんごう)　喜多(きた)
	ワキ方	福王(ふくおう)　高安(たかやす)　宝生(下掛り宝生)　〔春藤〕(しゅんどう)　〔進藤〕(しんどう)
	狂言方	大蔵(おおくら)　和泉(いずみ)　〔鷺〕(さぎ)
囃子方	笛方	一噌(いっそう)　森田　藤田　〔春日〕(しゅんにち)　〔平岩〕
	小鼓方	幸(こう)　幸清(こうせい)　大倉　観世
	大鼓方	葛野(かどの)　高安　大倉　石井　観世(宝生錬三郎派)
	太鼓方	観世　金春

〔　〕は廃絶

【能面】

能面の主なもの

分類		名称		
翁面	尉面	白色尉(はくしきじょう) 肉色尉 父尉 黒色尉		
	冠者面	延命冠者(えんめいかじゃ)		
		常相	奇相	異相
能面	尉面(老体面)	小尉(小牛尉)・三光尉・朝倉尉・笑尉・舞尉	皺尉(こわじょう)・石王尉	悪尉(あくじょう)(大悪尉・小悪尉・鼻瘤悪尉など)
	男面	若男・中将・平太(へいだ)・邯鄲男・十六・敦盛・童子・喝食(かっしき)・慈童・猩々	怪士(あやかし)・三日月・鷹・筋男(すじおとこ)・痩男・蛙(かわず)・一角仙人	癋見(べしみ)(大癋見・小癋見・黒癋見など)・飛出(とびで)(大飛出・小飛出・釣眼(つりまなこ)・黒髭など)・顰(しかみ)・獅子口・天神
	女面	若女・小面(こおもて)・増(ぞう)(増女)・孫次郎・近江女・深井・曲見(しゃくみ)・老女・姥	泥眼(でいがん)・橋姫・増髪(ますかみ)・痩女・山姥(やまんば)	般若(はんにゃ)・生成(なまなり)・蛇(じゃ)

【発光生物】

主な発光生物

細菌	発光バクテリア類(フォトバクテリウム・ビブリオなど)	節足動物	ウミホタル・発光ヤスデ・サクラエビ・ヒカリエビ・ホタルなど
真菌	ツキヨタケ・ナラタケ(菌糸)・ヤコウタケなど	軟体動物	ホタルイカ・メヒカリイカ・カモメガイ・発光ウミウシなど
原生動物	ヤコウチュウ・ケラチウムなど	原索動物	ヒカリボヤ・ギボシムシなど
腔腸動物	ウミサボテン・タコクラゲ・ウミエラ・オワンクラゲなど	脊椎動物	マツカサウオ・ヒカリキンメダイ・ホウネンイワシ・ホウネンエソなど
紐形動物	ヒカリヒモムシ		
環形動物	ウロコムシ・ツバサゴカイ・ヒカリミミズなど		

【発酵】

主な発酵

	作用	発酵微生物
アルコール発酵	糖→エタノール, 二酸化炭素	コウボ
グリセロール発酵	糖→グリセロール	コウボ
乳酸発酵	糖→乳酸, 二酸化炭素	乳酸菌, ケカビ
メタン発酵	二酸化炭素, 蟻酸, 酢酸など→メタン	メタン細菌
酢酸発酵	エタノール→酢酸	酢酸菌
クエン酸発酵	糖, 炭水化物→クエン酸	クロカビ, アオカビなど
イタコン酸発酵	糖→クエン酸→イタコン酸	アスペルギリスなど
グルコン酸発酵	糖→グルコン酸	酢酸菌, クロカビなど
酪酸発酵	糖→酪酸, アセトン, ブタノールなど	クロストリディウム
アミノ酸発酵	糖など→グルタミン酸, リジン, トレオニンなど	コリネバクテリウム

【発想標語】

発想標語

標語		意味
アニマート	animato	活発に, 生き生きと
アパッショナート	appassionato	情熱的に
ヴィーヴォ	vivo	活発に
エスプレッシーヴォ	espressivo	表情ゆたかに
カンタービレ	cantabile	歌うように(なだらかに)
グラーヴェ	grave	重々しく
グラツィオーソ	grazioso	優雅に
コン・ブリオ	con brio	生き生きと
コン・モート	con moto	元気よく
ジョコーソ	giocoso	嬉々として
センプリチェ	semplice	素朴に
トランクィッロ	tranquillo	静かに
ドルチェ	dolce	甘く, やわらかに
マエストーソ	maestoso	堂々と, 荘厳に

【パラフィン】

直鎖パラフィン炭化水素

名称	分子式	沸点(℃)
メタン (methane)	CH_4	−161.5
エタン (ethane)	C_2H_6	−89.0
プロパン (propane)	C_3H_8	42.1
ブタン (butane)	C_4H_{10}	0.5
ペンタン (pentane)	C_5H_{12}	36.1
ヘキサン (hexane)	C_6H_{14}	68.7
ヘプタン (heptane)	C_7H_{16}	98.4
オクタン (octane)	C_8H_{18}	125.7
ノナン (nonane)	C_9H_{20}	150.8
デカン (decane)	$C_{10}H_{22}$	174.1

【ハロゲン】

ハロゲン族の単体

名称	分子式	状態	色	融点(℃)	沸点(℃)
弗素	F_2	気体	淡黄	219.6	188.1
塩素	Cl_2	気体	黄緑	−101.0	−34.1
臭素	Br_2	液体	赤褐	−7.2	58.8
沃素	I_2	固体	黒紫	113.5	184.4

【藩学】

主な藩学

名称	藩主	所在地	創設年代	旧称・改称
稽古館(けいこかん)	津軽	弘前	1796	
作人館(さくじんかん)	南部	盛岡	1636	稽古所・明義堂
養賢堂(ようけんどう)	伊達	仙台	1736	学問所・明倫館
日新館(にっしんかん)	松平	会津	1678	
明徳館(めいとくかん)	佐竹	秋田	1789	明道館
興譲館(こうじょうかん)	上杉	米沢	1697	学校
道学堂(どうがくどう)	溝口	新発田	1772	
文武学校(ぶんぶがっこう)	真田	松代	1855	稽古所・学問所
弘道館(こうどうかん)	徳川	水戸	1841	
明倫堂(めいりんどう)	徳川	名古屋	1748	学問所
明倫堂(めいりんどう)	前田	金沢	1792	
成徳書院(せいとくしょいん)	堀田	佐倉	1792	
弘道館(こうどうかん)	井伊	彦根	1799	稽古館
立教館(りっきょうかん)	松平	白河・桑名	1791	学問所
学習館(がくしゅうかん)	徳川	和歌山	1713	講釈所
花畠教場(はなばたけきょうじょう)	池田	岡山	1641	仮学館・学校
誠之館(せいしかん)	阿部	福山	1786	弘道館
修道館(しゅうどうかん)	浅野	広島	1782	稽古屋敷・学問所
明教館(めいきょうかん)	松平	松江	1758	文明館・文武館
明倫館(めいりんかん)	毛利	萩	1719	
教授館(きょうじゅかん)	山内	高知	1760	教授場・致道館
明倫館(めいりんかん)	伊達	宇和島	1748	内徳館・敷教館
修猷館(しゅうゆうかん)	黒田	福岡	1784	
伝習館(でんしゅうかん)	立花	柳川	1824	
弘道館(こうどうかん)	鍋島	佐賀	1781	
時習館(じしゅうかん)	細川	熊本	1755	
造士館(ぞうしかん)	島津	鹿児島	1773	本学校

【舞曲】

舞曲(欧米の主な舞曲)

流行した時代	名称		拍子	始まった国	流行した時代	名称		拍子	始まった国
16〜17世紀	パヴァーヌ	pavane	4/4	イタリア		メヌエット	menuet	3/4	フランス
	ガイヤルド	gaillarde	3/2	イタリア	18〜19世紀	マズルカ	mazurka	3/4	ポーランド
	アルマンド	allemande	4/4	ドイツ	19世紀	ポロネーズ	polonaise	3/4	ポーランド
	シャコンヌ	chaconne	3/4	スペイン		ポルカ	polka	2/4	チェコ
	パッサカリア	passacaglia	3/4	スペイン		ボレロ	bolero	3/4	スペイン
	クーラント	courante	3/2	フランス・イタリア		ハバネラ	habanera	2/4	キューバ
17〜18世紀	サラバンド	saraband	3/4	スペイン		ギャロップ	galop	2/4	ドイツ
	ジーグ	gigue	6/8	イギリス	19〜20世紀	ワルツ	waltz	3/4	オーストリア
	ブーレ	bourrée	2	フランス	20世紀	チャルダシュ	czardas	2/4	ハンガリー
	ガヴォット	gavotte	4/4	フランス		タンゴ	tango	2/4	アルゼンチン

付表・図(広辞苑)

【坂東三十三所】

坂東三十三所

都県名	寺院名	都県名	寺院名
神奈川県	1 杉本寺	栃木県	18 中禅寺
	2 岩殿寺		19 大谷寺
	3 安養院		20 西明寺
鎌倉	4 長谷寺	茨城県	21 日輪寺
	5 勝福寺		22 佐竹寺
厚木	6 長谷寺		23 観世音寺
	7 光明寺		24 楽法寺
	8 星谷寺		25 大御堂
埼玉県	9 慈光寺		26 清滝寺
	10 正法寺	千葉県	27 円福寺
	11 安楽寺		28 滝正院
	12 慈恩寺		29 千葉寺
東京都	13 浅草寺		30 高蔵寺
神奈川県	14 弘明寺		31 笠森寺
群馬県	15 長谷寺		32 清水寺
	16 水沢寺		33 那古寺
栃木県	17 満願寺		

【病原体】

主な病原体

	特徴	例
ウイルス	宿主細胞内でのみ増殖, 化学療法剤が効かない	はしかウイルス, インフルエンザ・ウイルス, 日本脳炎ウイルス, 肝炎ウイルス, 風疹ウイルス, 黄熱ウイルス, ラッサ熱ウイルスなど
クラミジア	宿主細胞内でのみ増殖	トラコーマ・クラミジア, オウム病クラミジアなど
マイコプラスマ	細胞壁がない, 最小の自律増殖生物	異型肺炎マイコプラスマ, 肺炎マイコプラスマなど
細菌	細胞壁をもち, 自律的に増殖	ジフテリア菌, 肺炎双球菌, 淋菌, コレラ菌, 赤痢菌, 大腸菌, 破傷風菌, ボツリヌス菌, 結核菌など
スピロヘータ	同上	梅毒トレポネーマ, レプトスピラなど
リケッチア	宿主細胞内でのみ増殖	ツツガムシ病リケッチア, 発疹チフス・リケッチアなど
真菌	半ば寄生的に増殖	カンジダ, クリプトコッカス, 白癬菌など
原生動物(原虫)	宿主に寄生	マラリア原虫, トリパノソーマ, トキソプラスマ
寄生虫	同上	回虫, 十二指腸虫, 条虫, 住血吸虫, ジストマなど

【フロン】

フロン

名称	分子式	沸点(℃)
F 11	$CFCl_3$	23.8
F 12	CF_2Cl_2	−29.8
F 22	CHF_2Cl	−40.8
F 113	$C_2F_3Cl_3$	47.6
F 114	$C_2F_4Cl_2$	3.8
F 115	C_2F_5Cl	−39.1

【分国法】

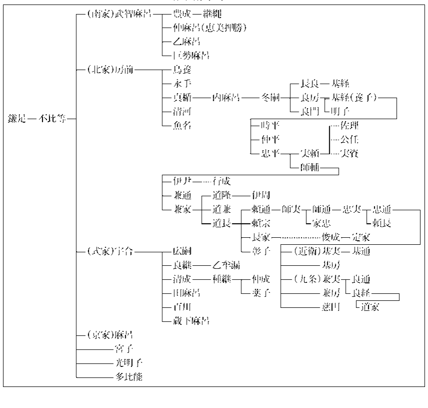
分国法

名称	別称	条文数	制定年代
朝倉孝景条々	朝倉敏景十七箇条	17	1471〜81
大内氏掟書	大内家壁書	181	1439〜1529
相良氏法度		41	1493〜1555
今川仮名目録		33	1526
同 追加		21	1553
塵芥集		171	1536
甲州法度	甲州法度之次第 信玄家法	26*	1547
結城氏新法度		106	1556
新加制式		22	1558〜70頃
六角氏式目	義治式目	67	1567
長宗我部氏掟書	長宗我部元親百箇条	100	1597頃

＊ のち55ヵ条に増補

【藤原】

藤原(藤原氏略系図)



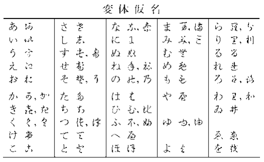
【仏像】

主な仏像の種類

如来部	釈迦如来、薬師如来、阿弥陀如来、毘盧遮那如来、大日如来、五智如来
菩薩部	弥勒菩薩、観(世)音菩薩(聖観音・如意輪観音・十一面観音・千手観音・不空羂索観音・馬頭観音・准胝観音など)、勢至菩薩、日光菩薩、月光菩薩、文殊菩薩、普賢菩薩、普賢延命菩薩、虚空蔵菩薩、五大虚空蔵菩薩、地蔵菩薩、薬王菩薩、薬上菩薩、妙見菩薩
明王部	五大明王(不動明王・降三世明王・軍荼利明王・大威徳明王・金剛夜叉明王)、愛染明王、孔雀明王、大元帥明王、烏枢沙摩明王
天　部	四天王(持国天・増長天・広目天・多聞天=毘沙門天)、梵天、帝釈天、吉祥天、弁財天、大黒天、歓喜天=聖天、韋駄天、摩利支天、仁王、鬼子母神、八部衆、十二神将
その他	十大弟子、羅漢、祖師、大師など

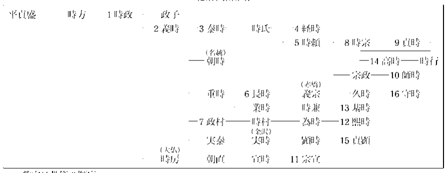
【変体仮名】

変体仮名



【北条】

北条(略系図)



数字は執権の順序

【ボクシング】

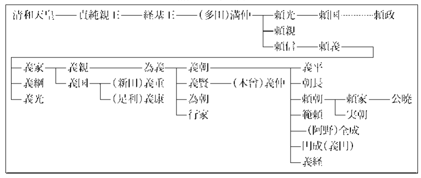
ボクシングの階級と体重

アマ 階級	体重(kg)	プロ 階級	体重(ポンド)
ライト-フライ	48 以下	ストロー	105(約 47.6 kg)以下
フライ	～51 以下	ジュニア-フライ	～108(約 48.9 kg)以下
バンタム	～54 以下	フライ	～112(約 50.8 kg)以下
フェザー	～57 以下	ジュニア-バンタム	～115(約 52.1 kg)以下
ライト	～60 以下	バンタム	～118(約 53.5 kg)以下
ライト-ウェルター	～63.5 以下	ジュニア-フェザー	～122(約 55.3 kg)以下
ウェルター	～67 以下	フェザー	～126(約 57.1 kg)以下
ライト-ミドル	～71 以下	ジュニア-ライト	～130(約 58.9 kg)以下
ミドル	～75 以下	ライト	～135(約 61.2 kg)以下
ライト-ヘビー	～81 以下	ジュニア-ウェルター	～140(約 63.5 kg)以下
ヘビー	～91 以下	ウェルター	～147(約 66.6 kg)以下
スーパー-ヘビー	91 超過	ジュニア-ミドル	～154(約 69.8 kg)以下
		ミドル	～160(約 72.5 kg)以下
		ライト-ヘビー	～175(約 79.3 kg)以下
		ジュニア-ヘビー	～190(約 86.1 kg)以下
		ヘビー	190 超過

ジュニアにはモスキート級(45 kg 以下)がある.

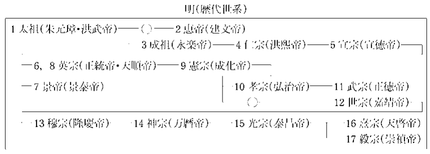
【源】

源(清和源氏略系図)



【明】

明(歴代世系)



【室町幕府】

室町幕府(将軍一覧)

代数	氏名	父	母	在職期間	没年
1	足利尊氏	足利貞氏	上杉頼重娘清子	1338～1358	1358
2	足利義詮	足利尊氏	北条(赤橋)久時娘登子	1358～1367	1367
3	足利義満	足利義詮	善法寺通清娘紀良子	1368～1394	1408
4	足利義持	足利義満	安芸法眼娘藤原慶子	1394～1423	1428
5	足利義量	足利義持	日野資康娘栄子	1423～1425	1425
6	足利義教	足利義満	安芸法眼娘藤原慶子	1429～1441	1441
7	足利義勝	足利義教	日野重光娘重子	1442～1443	1443
8	足利義政	足利義教	日野重光娘重子	1449～1473	1490
9	足利義尚	足利義政	日野重政娘富子	1473～1489	1489
10	足利義稙	足利義視	日野重政娘(富子妹)	1490～1493	
				1508～1521	1523
11	足利義澄	足利政知	武者小路隆光娘	1494～1508	1511
12	足利義晴	足利義澄	阿与	1521～1546	1550
13	足利義輝	足利義晴	近衛尚通娘	1546～1565	1565
14	足利義栄	足利義維	大内介娘	1568	1568
15	足利義昭	足利義晴	近衛尚通娘	1568～1573	1597

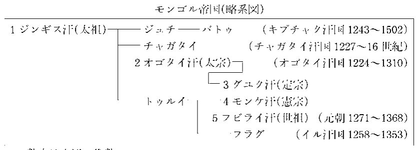
【命数法】

命　数　法

大　数	十、百、千、万、億、兆、京(けい)、垓(がい)、秭(し)、穣(じょう)、溝、澗(かん)、正(せい)、載、極、恒河沙(ごうがしゃ)、阿僧祇(あそうぎ)、那由他(なゆた)、不可思議、無量大数
小　数	分、厘、毫(=毛)、糸、忽(こつ)、微、繊、沙(しゃ)、塵、埃(あい)、渺(びょう)、漠、模糊(もこ)、逡巡、須臾(しゅゆ)、瞬息、弾指、刹那、六徳、虚空、清浄

【モンゴル帝国】

モンゴル帝国(略系図)



数字は大汗の代数

【養老律令】

養老令の編名

1 官位令(かんいりょう)	16 宮衛令(くうえりょう・くえりょう)
2 職員令(しきいんりょう)	17 軍防令(ぐんぼうりょう)
3 後宮職員令(ごくうしきいんりょう・こうきゅうしきいんりょう)	18 儀制令(ぎせいりょう)
4 東宮職員令(とうぐうしきいんりょう)	19 衣服令(えぶくりょう・いふくりょう)
5 家令職員令(けりょうしきいんりょう・かれいしきいんりょう)	20 営繕令(ようぜんりょう・えいぜんりょう)
6 神祇令(じんぎりょう)	21 公式令(くうじきりょう・くしきりょう)
7 僧尼令(そうにりょう)	22 倉庫令(そうこりょう)
8 戸令(こりょう)	23 廐牧令(くもくりょう・きゅう[illegible]くりょう)
9 田令(でんりょう)	24 医疾令(いしちりょう・いしつりょう)
10 賦役令(ふやくりょう・ぶやくりょう)	25 仮寧令(けにょうりょう)
11 学令(がくりょう)	26 喪葬令(そうそうりょう)
12 選叙令(せんじょりょう)	27 関市令(げんしりょう)
13 継嗣令(けいしりょう)	28 捕亡令(ぶもうりょう)
14 考課令(こうかりょう)	29 獄令(ごくりょう)
15 禄令(ろくりょう)	30 雑令(ぞうりょう)

【紋所】

紋　所

分　類	素　材　と　名　称
模様・文字	鱗(三つ鱗)・唐花・亀甲(三つ亀甲)・七宝・蛇の目・菱(三つ菱・三盛菱・花菱・松皮菱・割り菱・武田菱・大内菱)・巴(右巴・左巴・一つ巴・二つ巴・三つ巴)・由(丸由・左由)・引両(一つ引両・二つ引両・三つ引両)・木瓜(丸に木瓜・庵木瓜・蔓木瓜)・目結(四目結)・輪(金輪・輪違い)・百文字・一文字・十文字・井の字・大山形
建築・器具	庵・錨・井桁・井筒(重井筒・角立井筒・平井筒)・石畳・糸巻・団扇(うちわ)(三本団扇)・扇(三つ扇・日の丸扇・扇車)・檜扇・笠(丸に笠・柳生笠・三蓋笠)・傘(三本傘)・舵・鐶・杏葉(ぎょうよう)・釘抜・くつわ・車(源氏車・風車)・剣・五徳・琴柱(ことじ)・駒・銭(六連銭・永楽通宝)・槌・鼓・羽根・分銅・枡・的・守(祇園守)・矢(矢車)・輪鼓(りゅうご)
植物	葵(葵巴・立葵・唐草葵)・総角(あげまき)・麻(麻の葉)・銀杏・稲(稲の丸・抱き稲)・梅(梅鉢・裏梅)・沢瀉(おもだか)(抱き沢瀉・立て沢瀉)・かきつばた・柏(抱き柏・違い柏・三つ柏・三葉柏)・梶(梶の葉)・かたばみ(草かたばみ・剣かたばみ)・桔梗(ききょう)(細桔梗・桔梗崩し)・菊(菊花・菊一文字・三つ割菊・裏菊・菊水・杏葉菊・乱菊)・桐(五三桐・五七桐・大内桐・太閤桐)・くるみ・河骨(こうほね)・桜(影桜)・大根・竹(竹の丸・竹に雀)・笹(おかめ笹・三枚笹・丸に九枚笹・根笹・竹持笹・上杉笹・仙台笹)・棕櫚(しゅろ)・杉(一本杉・並び杉・杉巴)・薄(すすき)(薄の丸)・橘(丸に橘・向う橘)・丁子・蔦(鬼蔦・中陰蔦・結蔦)・鉄線(光琳鉄線)・なずな(雪なずな)・なでしこ・ひいらぎ・藤(上り藤・下り藤・藤の丸)・葡萄・牡丹(近衛牡丹・伊達牡丹・鍋島牡丹・蟹牡丹・杏葉牡丹)・松(一つ松・櫛松・三蓋松・松葉・松笠)・茗荷(抱き茗荷)・桃・竜胆(笹竜胆)・餅(黒餅)
動物	鴛鴦(おし)・兎(花兎)・馬(繋ぎ馬)・雁(三つ雁金・結び雁金・雁金菱)・雀(雀の丸・ふくら雀)・鷹(鷹の羽)・鶴(鶴の丸・舞鶴)・蝶(揚羽蝶・胡蝶)・鳩
天文・気象	日(日の丸)・月(三日月)・星(三つ星・八曜・九曜)・稲妻(稲妻菱)・雲・雪(雪輪)・波

【ヤードポンド法】

長　さ

1 インチ		2.54 cm
1 フィート	12 インチ	30.48 cm
1 ヤード	3 フィート	91.44 cm
1 マイル	1,760 ヤード	1.609 km

面　積

1 エーカー	4,047 m²

体　積

1 ガロン(英)	4.546 ℓ
1 ガロン(米)	3.785 ℓ

質　量

1 オンス		28.35 g
1 ポンド	16 オンス	453.6 g
1 トン(英)	2,240 ポンド	1.016 t
1 トン(米)	2,000 ポンド	0.9072 t

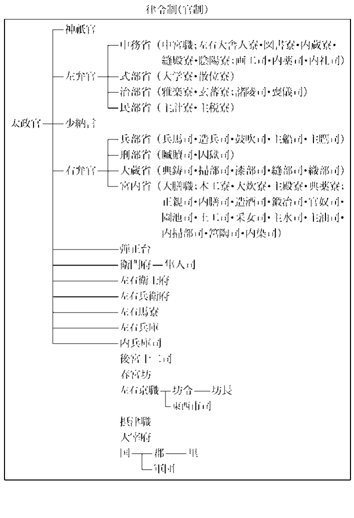
【六国史】

六　国　史

書　名	巻数	収載歴代	完成年	主な編者
日本書紀	30	(神代)～持統	720	舎人親王
続日本紀	40	文武～桓武	797	藤原継縄・菅野真道
日本後紀	40	桓武・淳和	840	藤原冬嗣・藤原緒嗣
続日本後紀	20	仁明	869	藤原良房・春澄善縄
日本文徳天皇実録	10	文徳	879	藤原基経・都良香・菅原是善
日本三代実録	50	清和・陽成・光孝	901	藤原時平・大蔵善行

【律令制】

律令制(官制)



【令外官】

令外官の主なもの

官　名	初置年代
内大臣(ないだいじん)	669
参議(さんぎ)	702
知太政官事(ちだいじょうかんじ)	703
中納言(ちゅうなごん)	705
按察使(あぜち)	719
征夷大将軍(せいいたいしょうぐん)	794
勘解由使(かげゆし)	797 頃
観察使(かんさつし)	806
蔵人所(くろうどどころ)	810
検非違使(けびいし)	816 頃
修理職(しゅりしき)	818

【暦法】

暦法(日本で行われた暦法)

暦　名	作　製　者	施　行　年
元嘉暦(げんかれき)	何承天(南朝宋)	692(持統天皇 6 年)
儀鳳暦(ぎほうれき)	李淳風(唐)	697(文武天皇元年)
大衍暦(たいえんれき)	一行(唐)	764(天平宝字 8 年)
五紀暦(ごきれき)	郭献之(唐)	858(天安 2 年)
宣明暦(せんみょうれき)	徐昂(唐)	862(貞観 4 年)
貞享暦(じょうきょうれき)	渋川春海	1685(貞享 2 年)
宝暦暦(ほうれきれき)	安倍泰邦ほか	1755(宝暦 5 年)
寛政暦(かんせいれき)	高橋至時・間重富	1798(寛政 10 年)
天保暦(てんぽうれき)	渋川景佑ほか	1844(弘化元年)
グレゴリオ暦		1873(明治 6 年)

【ローマ字】

ローマ字

大文字	小文字	名称	大文字	小文字	名称
A	a	エー	N	n	エヌ
B	b	ビー	O	o	オー
C	c	シー	P	p	ピー
D	d	ディー	Q	q	キュー
E	e	イー	R	r	アール
F	f	エフ	S	s	エス
G	g	ジー	T	t	ティー
H	h	エッチ	U	u	ユー
I	i	アイ	V	v	ヴィー
J	j	ジェー	W	w	ダブリュー
K	k	ケー	X	x	エックス
L	l	エル	Y	y	ワイ
M	m	エム	Z	z	ゼット

【ローマ数字】

ローマ数字

算用数字	ローマ数字
1	Ⅰ
2	Ⅱ
3	Ⅲ
4	Ⅳ
5	Ⅴ
6	Ⅵ
7	Ⅶ
8	Ⅷ
9	Ⅸ
10	Ⅹ
50	L
100	C
500	D
1000	M

【ロシア文字】

ロシア文字

大文字	小文字	名称	大文字	小文字	名称
А	а	アー	Р	р	エル
Б	б	ベー	С	с	エス
В	в	ヴェー	Т	т	テー
Г	г	ゲー	У	у	ウー
Д	д	デー	Ф	ф	エフ
Е	е	イェー	Х	х	ハー
Ё	ё	ヨー	Ц	ц	ツェー
Ж	ж	ジェー	Ч	ч	チェー
З	з	ゼー	Ш	ш	シャー
И	и	イー	Щ	щ	シチャー
Й	й	イー・クラートコエ		ъ	硬音符
К	к	カー		ы	ウイ
Л	л	エリ		ь	軟音符
М	м	エム	Э	э	エー
Н	н	エヌ	Ю	ю	ユー
О	о	オー	Я	я	ヤー
П	п	ペー			

【渡り鳥】

日本列島の主な渡り鳥

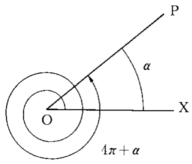
夏鳥(夏、日本に来て繁殖)		冬鳥(日本で越冬)	
種名	越冬地	種名	繁殖地
ホトトギス	・東南アジア*	ナベヅル	・ロシア沿海州アムール地方
カッコウ	・東南アジア	マナヅル	・ロシア沿海州アムール地方
ヨタカ	・東南アジア	オオハクチョウ	・シベリア-タイガ帯
ブッポウソウ	・東南アジア	コハクチョウ	・シベリア北極圏
アカショウビン	・東南アジア	マガン	・シベリア北極圏
ツバメ	・東南アジア	オナガガモ	・シベリア・北米北部
オオルリ	・東南アジア	スズガモ	・シベリア北東部
コルリ	・東南アジア	コミミズク	・シベリア
キビタキ	・東南アジア	ツグミ	・シベリア-タイガ帯
ノビタキ	・東南アジア	アトリ	・シベリア-タイガ帯
センダイムシクイ	・東南アジア	ジョウビタキ	・シベリア南東部・ロシア沿海州
クロツグミ	・東南アジア	ヒレンジャク	・ロシア沿海州アムール地方
オオヨシキリ	・東南アジア	ハマシギ	・シベリア・アラスカ北極圏
オオジシギ	・オーストラリア南東部	アビ	・シベリア北極圏
コアジサシ	・ニューギニア・オーストラリア	ユリカモメ	・シベリア北東部・カムチャツカ
オオミズナギドリ	・フィリピン群島・オーストラリア北部	セグロカモメ	・シベリア北部

旅鳥(渡りの途中, 日本を通過)		
種名	越冬地	繁殖地
アカエリヒレアシシギ	フィリピン・ニューギニア	・・シベリア北極圏
チュウシャクシギ	東南アジア・オーストラリア	・・シベリア東部
キョウジョシギ	東南アジア・オーストラリア	・・シベリア・アラスカ北極圏
キアシシギ	東南アジア・オーストラリア	・・シベリア東部
オオソリハシシギ	東南アジア・オーストラリア	・・シベリア北極圏
エリマキシギ	東南アジア・オーストラリア	・・シベリア北極圏
トウネン	東南アジア・オーストラリア	・・シベリア北極圏
ダイゼン	東南アジア・オーストラリア	・・シベリア北極圏
ムナグロ	東南アジア・オーストラリア	・・シベリア・アラスカ西部北極圏
メダイチドリ	東南アジア・オーストラリア	・・シベリア・カムチャツカ
トウゾクカモメ	オーストラリア・ニュージーランド海域	・・シベリア北極圏
アジサシ	オーストラリア南部海域	・・シベリア東部
ハシボソミズナギドリ	北太平洋北部	・・オーストラリア南東部・タスマニア
エゾビタキ	東南アジア	・・シベリア南東部

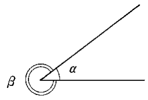
越冬地・繁殖地は、日本列島に渡来する集団についてのものを示す。
＊東南アジアは、東アジア・南アジアをも含む。

●図

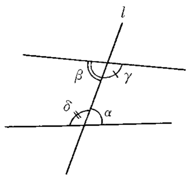
【一般角】



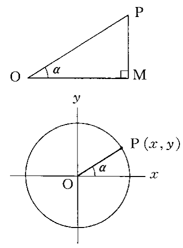
【共役角】



【錯角】



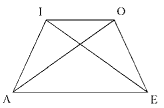
【三角関数】



【算木】

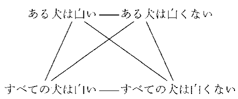


【対当関係】



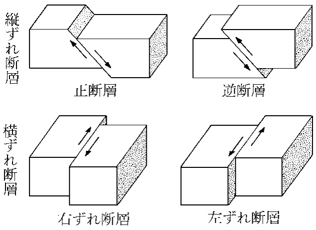
対当関係の図式

A E：反対対当
I O：小反対対当
A I，E O：大小対当
A O，E I：矛盾対当

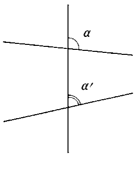


対当関係の例

【断層図】



【同位角】



付表・図(家庭の医学)

- 見出し語の解説画面の中に“→資料・家庭の医学○○”と表示されたときは、この付表・図を参照してください。
- 付表・図は、番号順に“資料・家庭の医学01～129”の順番で掲載してありますので、番号をもとに参照してください。

【資料・家庭の医学01】

診療科目(医療法で認められたもの)と診療する病気

区分	診療科目	診療する病気
医科	内科	薬を主として治療できる病気全般。診断をくだし、適切な専門診療科を紹介する
医科	外科	手術を主として治療できる病気
医科	小児科	子どもの病気全般
医科	皮膚科	皮膚・粘膜・毛髪・爪の病気
医科	泌尿器科	腎臓・尿管・膀胱・尿道・男性性器の病気。男性の不妊
医科	皮膚泌尿器科	皮膚科と泌尿器科をいっしょにした科
医科	産婦人科(産科 婦人科)	正常・異常の妊娠から出産までの管理と治療。女性性器(外陰・膣・子宮・卵巣)の病気。月経の異常。女性の不妊
医科	精神科(神経科)	こころの病気
医科	神経内科(神経科)	脳・神経系の病気
医科	リウマチ科(膠原病)	リウマチによる病気や膠原病専門
医科	アレルギー科	ぜんそくなどアレルギーによる病気専門
医科	眼科	目の病気と視力の異常
医科	整形外科	骨・関節・筋肉・脊髄の病気とけが
医科	耳鼻咽喉科	耳の病気と聴力・平衡の異常。鼻・のど(咽頭・喉頭・扁桃)の病気
医科	呼吸器科	気管支・肺・横隔膜・縦隔・胸壁の病気
医科	呼吸器外科	手術を必要とする呼吸器の病気
医科	気管食道科	気管と食道の病気
医科	消化器科(胃腸科)	胃・腸・肝臓(胆嚢)・膵臓の病気
医科	心臓血管外科	手術を必要とする心臓・血管の病気
医科	循環器科	心臓・血管の病気。血圧の異常
医科	脳神経外科	手術を必要とする脳・神経系の病気
医科	小児外科	手術を必要とする子どもの病気
医科	形成外科	けが・手術・生まれつきなどによる障害部位の修復・再建
医科	美容外科	美容を目的とした部位の修復
医科	性病科	性行為によって起こる感染症
医科	肛門科	肛門の病気
医科	理学診療科	リハビリテーションや運動療法で機能回復を必要とする病気
医科	放射線科	X線、CT、MRIその他放射線、放射性同位元素や超音波を使った診断と治療
医科	麻酔科★	手術の麻酔や痛みの治療(ペインクリニックを含む)
歯科	歯科	歯や口腔の病気
歯科	矯正歯科	歯並びや噛み合わせの異常
歯科	小児歯科	子どもの歯や口腔の病気と予防、歯並びや噛み合わせの異常
歯科	歯科口腔外科	手術で治療する歯・口腔・顎の病気やけが

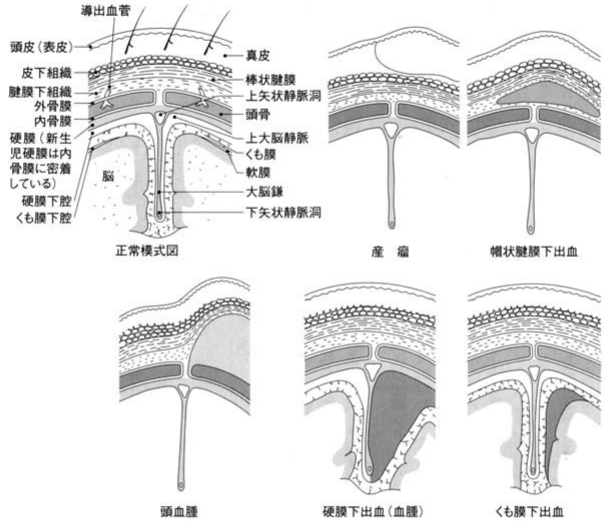
★の標榜は厚生労働省の許可を受けた場合のみ

その他の診療科目

(専門医がいる大学病院や国公私立の病院で使用されているおもなもので、「科」でなく「部」という病院もある)

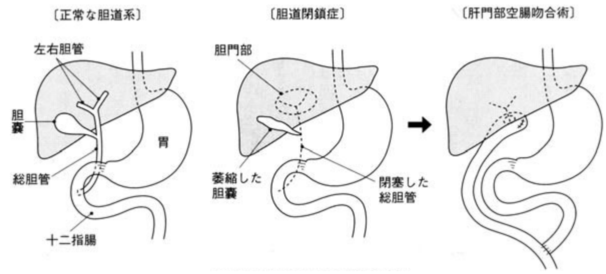
診療科目	診療する病気
リハビリテーション科	病気や手術後の機能回復(理学療法士、作業療法士などの専門職がいる)
内分泌(代謝)科	甲状腺等の疾患、ホルモン異常や糖尿病、肥満など代謝異常
児童精神科	3歳児以上小学生までのこころの病気
老年科(老人科) 成人病科	高齢者特有の病気や生活習慣病
未熟児科	2500g未満の出生体重児や早産児
心療内科	心因性の原因による身体の病気
糖尿病科	糖尿病と合併症
ペインクリニック	痛み全般(おもに麻酔科が診療)
病理科	病理医による病気の診断(直接受診することはない)
核医学科	放射性同位元素を利用した診療(直接受診することはない)
臨床検査科	患者の検体を採取あるいは診断機器を用いて検査(直接受診することはない)
救急(医学)科	救命・救急を要する患者を診療
腎臓科	腎臓の病気や高血圧
人工透析科	腎臓の病気に人工腎臓を利用した診療
総合診療科	科を特定しない病気一般

【資料・家庭の医学02】



(村田文也：臨床新生児ハンドブック(改訂第2版)による)

【資料・家庭の医学03】



【資料・家庭の医学04】

●予防接種法による定期予防接種

対象疾病	(ワクチン)	接種 対象年齢	標準的な接種年齢	回数	間隔	備考
ジフテリア 百日ぜき 破傷風	沈降精製 DPT ワクチン	1期初回 生後3～90月	生後3～12月	3回	3～8週	・満1期で接種間隔があいた場合は、すべてのやり直しはせず規定の回数を接種する
		1期追加 生後3～90月(1期初回接種(3回)終了後、6カ月以上の間隔をおく)	1期初回接種(3回)後12～18月	1回		
		2期 11～12歳(DTトキソイド)	小学校6年	1回		
	DT トキソイド	1期初回 生後3～90月	生後3～12月	2回(沈降) 3回(液状)	4～6週(沈降) 3～8週(液状)	・DTトキソイドは百日ぜきに罹患したことが明確な者及びジフテリア、破傷風の第2期に使用する
		1期追加(1期初回接種終了後、6カ月以上の間隔をおく)	1期初回接種後12～18月	1回		
		2期 11～12歳	小学校6年	1回		
ポリオ		生後3～90月	生後3～18月	2回	6週以上	・下痢がある場合は延期する ・服用直後に吐き出した場合は再服用させる ・通常、春と秋に2回おこなう
麻疹		生後12～90月	生後12～24月	1回		・麻疹の予防接種は、標準的な接種年齢のうちできるだけ早期におこなう ・流行時には生後12カ月未満の者に対しても任意接種としておこなうことができる。この場合定期接種を標準的な接種年齢の間におこなう ・ガンマグロブリン注射を受けたものは3カ月(大量療法の場合6カ月)後におこなう
風疹		生後12～90月 12～15歳	・生後12～36月 ・中学生*	1回 1回		・幼児についておこなう風疹の予防接種は、麻疹接種の後におこなうことを原則とする ・中学生の男女とも対象となる ・小学生については以前に風疹の予防接種を受けたことがある場合は接種をおこなわない
日本脳炎		1期初回 生後6～90月	3歳	2回	1～4週	
		1期追加 生後6～90月(1期初回終了後おおむね1年おく)	4歳	1回		
		2期 9～12歳	小学校4年	1回		
		3期 14～15歳	中学校2年	1回		

＊中学生について行う風疹の予防接種は、平成7年4月1日から平成15年9月30日までの間実施する

【資料・家庭の医学05】

●結核予防法によるBCGの接種

種類	接種 対象年齢	回数	間隔	備考
BCG	4歳未満のツ反陰性者 小学校1年のツ反陰性者 小学校2年のツ反陰性者 中学校1年のツ反陰性者 中学校2年のツ反陰性者	各1回	ツ反判定後2週間以内	小学校2年、中学校2年は、それぞれ小学校1年、中学校1年でツ反陰性の者のみ対象となる

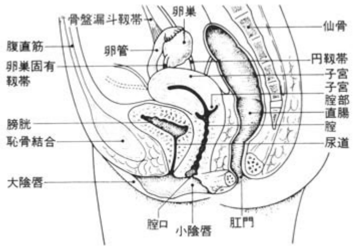
【資料・家庭の医学06】

●任意接種

種類	接種 対象年齢	回数	間隔	備考
インフルエンザ	全年齢 特に、保育所、幼稚園、小学校、中学校の児童生徒、高齢者	2回	1～4週(3～4週が望ましい)	
おたふくかぜ	1歳以上の未罹患者	1回		・副反応は少ないが、ときに接種2～3週間後に一過性の耳下腺腫脹や発熱がみられることもある。また、まれに髄膜炎の報告もある
水痘＊	1歳以上の未罹患者	1回		・ときに水痘に罹患し軽く発しんが出ることがある
B型肝炎	(1)母子垂直感染防止 HBe抗原陽性の母親から生まれたHBsb抗原陰性の乳児	3回	通常生後 2、3、5カ月	・(1)では出生直後(できるだけ早く、遅くとも48時間以内)と生後2カ月にHB免疫グロブリンを通常1ml筋注、(2)では出生直後のみHB免疫グロブリンを同量筋注する
	(2)HBe抗体陽性キャリア母から生まれたHBs抗原性の乳児	3回	通常生後 2、3、5カ月	・ワクチン3回接種後にHBs抗原、抗体検査するのが望ましい
	(3)ハイリスク者 医療従事者、腎透析を受けている者など	3回	1カ月間隔で2回、その後5～6カ月後に1回	・必要に応じ追加接種をおこなう

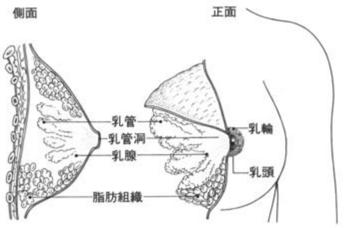
＊接種対象は主として悪性腫瘍やネフローゼなどの免疫不全状態で、水痘が重症化するおそれがあるものが中心である。
また、希望により健康児にも接種をおこなう

【資料・家庭の医学07】



●内性器の構造(側面)

【資料・家庭の医学08】



●乳房の構造

【資料・家庭の医学09】

● 子宮出血を伴う婦人病一覧

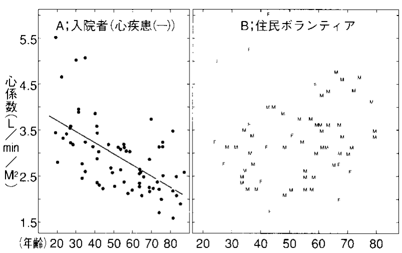
病　　名	出血状況	腹　痛	発　熱	そ の 他
子宮腟部びらん	接触による軽い出血	(−)	(−)	経産婦に多い
子宮頸管ポリープ	接触による軽い出血	(−)	(−)	頸管炎，内膜炎に関係あり
子宮頸がん	はじめは接触出血，のちには持続性で膿などがまじる	(−)	初期には(−)	40歳以後に多い定期検診を！
子宮内膜炎	分娩後のものは血性膿性	(+)−(−)	(+)−(−)	不妊症，結核，性病等と関係あり
機能性子宮出血	出血以外に子宮等に器質的変化なし	(−)	(−)	基礎体温等が参考となる
子宮筋腫	過多または頻発月経のほか月経困難症あり	(−)大きくなると圧迫痛あり	(−)	30歳以上の婦人で不妊症と関係あり貧血があれば一応筋腫も疑う
子宮体がん	少量の血液がまじった漿液性帯下	ときに陣痛様の痛みあり	(−)−(+)	50−60歳代に多い閉経後の出血はまず体がんを疑う
子宮肉腫	肉汁様不正子宮出血	(−)	(−)	がんにくらべ若年者に多い
絨毛性腫瘍	暗赤色の不正子宮出血	(−)	(−)	妊娠反応陽性，胞状奇胎，流産と関係あり
急性子宮付属器炎	過多月経および不正出血	(⧺)	(⧺)	抗生物質等で好転する
卵巣腫瘍	不正子宮出血の断続	(−)茎捻転時には(⧺)	(−)茎捻転時には(+)	卵巣腫瘍が触れる
流産*	少量の出血持続，時に大量	(+)	(−)−(+)	無月経，つわり等あり
子宮外妊娠*	少量の出血持続	(−)−(⧻)	(−)−(+)	超音波・妊娠反応で妊娠の中絶前の無症状時にも診断されることがある
胞状奇胎*	断続的な暗赤色の出血，のちに大出血	(−)−(+)	(−)	超音波でむかしにくらべ早く診断がつく，フォローアップが大切

*印は妊娠に関連する疾患
(−)なし，(+)あり，(⧺)相当あり，(⧻)強くあり。

【資料・家庭の医学10】


●乳房の腫瘤のできる場所

【資料・家庭の医学11】



●"正常人" 心拍出量の加齢変化

【資料・家庭の医学12】

●パーキンソン病の重症度

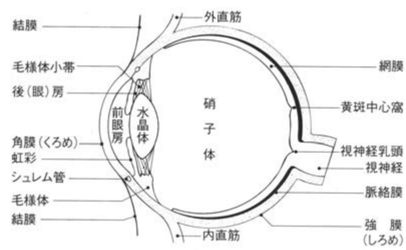
ヤールの重症度分類		生活機能障害度	
1度	左右どちらか一側性の障害。振戦や固縮がみられる	1度	日常生活、通院に介助を必要としない
2度	障害が両側性である。姿勢、固縮、無動などが両側にみられる	1度	〃
3度	明らかな歩行障害あり。姿勢反射障害あり。突進現象がみられる	2度	日常生活、通院に介助を要する
4度	起立や歩行など日常生活動作の低下がいちじるしい。労働能力が失われる。	2度	〃
5度	完全な廃疾状態。介助による車椅子歩行。寝たきりの状態	3度	日常生活に全面的な介助を要し、起立歩行は不能である

＊どの段階まで進むかは個人差があり、すべての患者が5度になるわけではない

【資料・家庭の医学13】

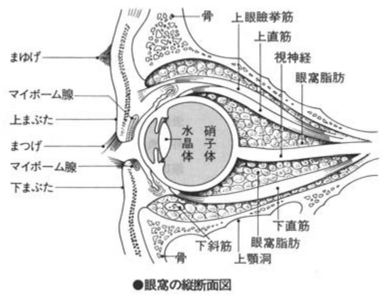

毛孔に一致して化膿する
●面　疔

【資料・家庭の医学14】



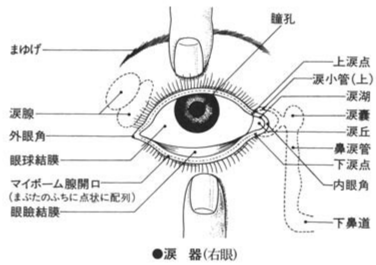
●眼球(右眼)の断面を上から見た図

【資料・家庭の医学15】



●眼窩の縦断面図

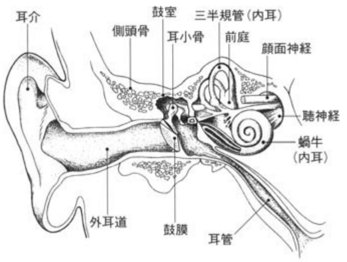
【資料・家庭の医学16】



●涙　器(右眼)

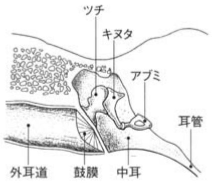
付表・図(家庭の医学)

【資料・家庭の医学17】



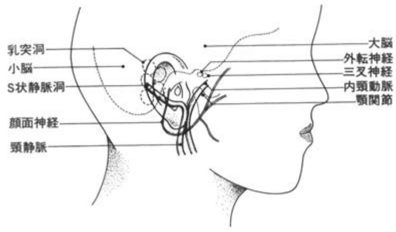
●耳の構造

【資料・家庭の医学18】



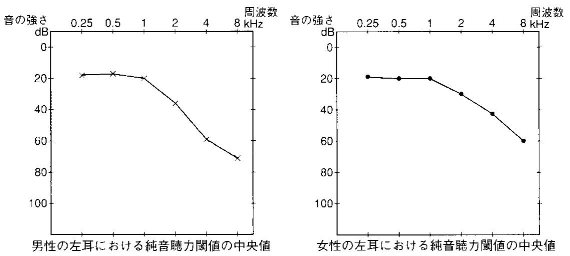
●ツチ、キヌタ、アブミという三つの骨

【資料・家庭の医学19】



●耳の近くにある組織

【資料・家庭の医学20】



●75歳での男性と女性の老人難聴の差

【資料・家庭の医学21】

●補聴器のいろいろ

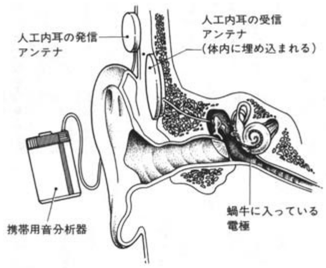
種　類	説　明
①箱形補聴器 	本体はポケットに入れる。またイヤホンのコードを長くして本体をテレビの近くに置くと、テレビの音を大きくしなくても聞くことができることがある。
②耳かけ補聴器 	本体は耳たぶ（耳介）のうしろに下げるので、あまり目立たない。しかしつけていることはわかる。装着がゆるいのでテニスなどの運動で、はずれることがある。
③眼鏡型補聴器 	眼鏡のツルに器械が入っているので、太いツルでつけているのもわかる。
④挿耳型補聴器 	本体は小さく、イヤホンと一体となっている。耳介の中心部の平らなところに本体をはめ、イヤホンを外耳道に挿入する。外側（シェルという）は各個人の耳のかたちにあわせたオーダーメイドとなる。装着はしっかりとしており、運動してもはずれることはないが、湿気がこもって効率が落ちることがある。
⑤耳穴型補聴器 	挿耳型よりもさらに小さく、耳の穴（外耳道）にすっぽりとおさまり、外からはほとんど見えない。あらかじめ性能をセットしておくので装着のたびに調整する必要がない。 シェルはオーダーメイドであり、装着もしっかりしている。湿気のこもることは挿耳型と同じである。

【資料・家庭の医学22】

●補聴器の型と利点・欠点

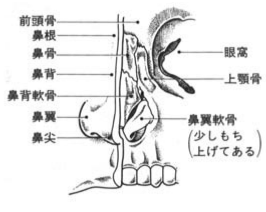
	利　点	欠　点	使　用
箱型補聴器	音質がよくピーピー音が少ない 話し手の口もとに器械を近づけられる いろいろな調節ができる スイッチなどの操作が楽	コードがじゃまになる 固定しにくく衣服のすれる音が入る うしろから呼ばれるとき不便 つけていることがすぐわかる	中等度・高度の難聴によい
耳かけ型補聴器	小さくて目立たない 耳の位置にあるので自然な音感覚がある 日常の動作に便利 フル・デジタル型で性能が大幅に向上	スイッチなどの操作がむずかしい 運動で落としやすい 眼鏡がかけられない	軽度・中等度・やや高度の難聴によい
眼鏡型補聴器	眼鏡と併用できる 耳の位置にマイクがあるので自然な音感覚がある 目立たない 両耳補聴が簡単にできる	スイッチなどの操作がむずかしい 性能・音質が劣る 汗で器械がこわれやすい 眼鏡をはずす人には不便	軽度・中等度の難聴によい
挿耳型補聴器	小さくて目立たない 個人の耳の穴にあわせてピタリとつけることができる 耳の位置にあるので自然な音感覚がある 日常の動作に便利 フル・デジタル型で性能が大幅に向上	横向きで装用がわかる	軽度・中等度・やや高度の難聴によい
耳穴型補聴器	耳の穴のなかにすっぽり入り、まったく目立たない 個人の耳の穴にあわせて型をつくるので、ピタリとつく 自然な音感覚がある 細かい調節が不要 フル・デジタル型で性能が大幅に向上	小さな子どもでは自分でつけるのがむずかしい 夏に不快感を生ずることがある	軽度・中等度や高度の難聴によい

【資料・家庭の医学23】



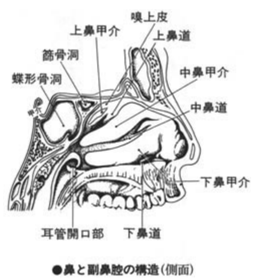
●人工内耳

【資料・家庭の医学24】



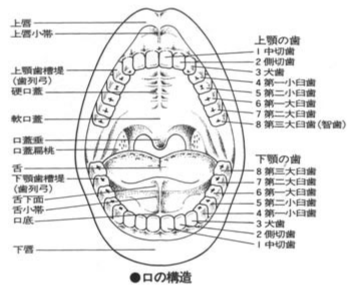
●鼻を形づくる骨と軟骨

【資料・家庭の医学25】



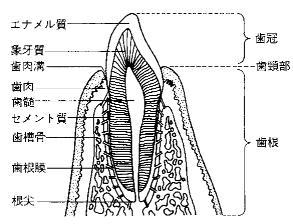
●鼻と副鼻腔の構造（側面）

【資料・家庭の医学26】



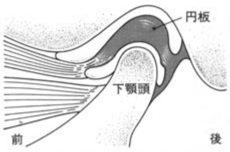
●口の構造

【資料・家庭の医学27】

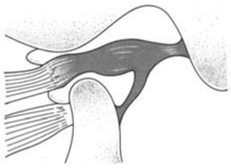


●歯と歯周組織の構造

【資料・家庭の医学28】



口を閉じたときの円板の位置
（健康人）



口を開いたときの円板の位置
（健康人）



円板の前方転位

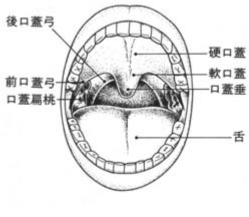
●顎関節における関節円板の位置

【資料・家庭の医学29】

●歯のできる時期と生える時期

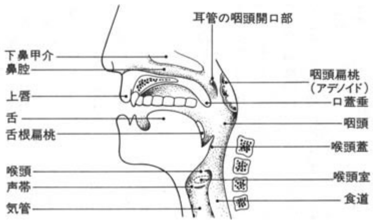
歯の名前	歯の芽ができる時期	カルシウムができ始める時期	上あごの歯が生える時期	下あごの歯が生える時期
乳中切歯	胎生5週	胎生18週	8～12カ月	5～10カ月
乳側切歯	胎生6週	胎生19週	9～14カ月	10～15カ月
乳犬歯	胎生7週	胎生20週	13～19カ月	15～20カ月
第1乳臼歯	胎生8週	胎生21週	14～19カ月	15～19カ月
第2乳臼歯	胎生9週	胎生23週	22～31カ月	21～38カ月
中切歯	胎生5カ月	生後4カ月	6歳5カ月～7歳2カ月	6歳～6歳4カ月
側切歯	胎生5カ月	生後4カ月	7歳5カ月～8歳5カ月	6歳5カ月～7歳3カ月
犬歯	胎生6カ月	生後4カ月	10歳～10歳8カ月	8歳8カ月～10歳8カ月
第1小臼歯	出生直後	生後20カ月	9歳5カ月～10歳	9歳5カ月～10歳3カ月
第2小臼歯	生後8カ月	生後28カ月	10歳2カ月～11歳5カ月	10歳5カ月～11歳5カ月
第1大臼歯	胎生4カ月	出生直後	6歳～6歳5カ月	5歳8カ月～6歳2カ月
第2大臼歯	生後8カ月	生後35カ月	11歳8カ月～12歳4カ月	11歳1カ月～12歳5カ月
第3大臼歯	4歳	7～10歳	20～25歳	20～25歳

【資料・家庭の医学30】



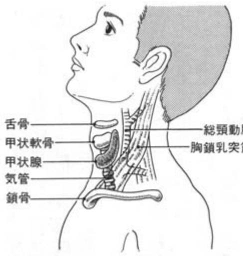
●のどの構造

【資料・家庭の医学31】



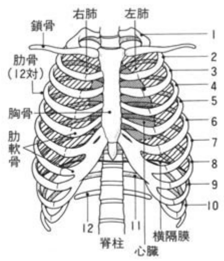
●咽・喉頭の縦断面図(前後)

【資料・家庭の医学32】



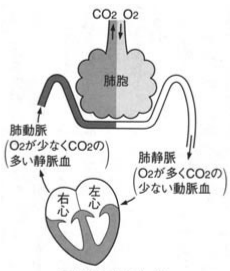
●くびの模式図

【資料・家庭の医学33】



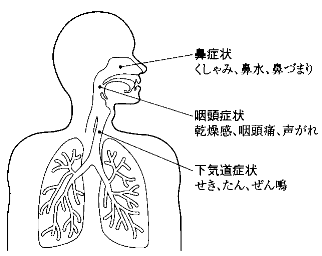
●胸郭の骨

【資料・家庭の医学34】



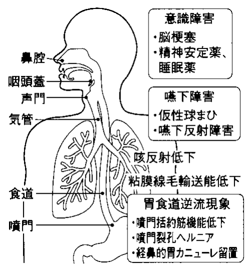
●ガス交換のしくみ

【資料・家庭の医学35】



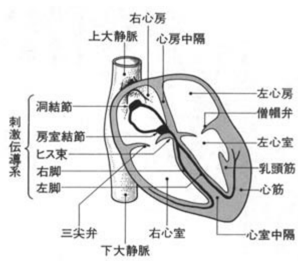
●かぜの症状

【資料・家庭の医学36】



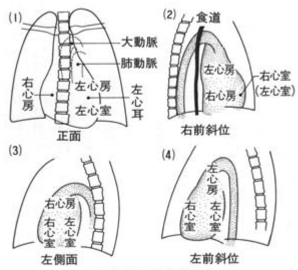
●誤嚥性肺炎の要因

【資料・家庭の医学37】



●心臓の断面図

【資料・家庭の医学38】



●心臓のX線像模式図

付表・図(家庭の医学)